

県立長野図書館概要

令和6年（2024年）4月

令和6年（2024年）年8月21日改訂版



県立長野図書館

目次

I 令和 6 年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～	1
2 取組方針等	2
3 主要事業計画	3
4 組織及び事務分掌	4
5 予算	5

II 令和 5 年度事業実績

1 事業概要	7
2 展示・企画展の実施	8
3 調査相談の状況	12
4 市町村立図書館等との協働、支援	14
5 フォーラム・研修会の開催	17
6 信州・学び創造ラボ	20
7 電子書籍サービス	22
8 読書バリアフリーサービス	23
9 令和 5 年度主要事業実施状況（図書館協議会資料から）	24

III 統計資料（令和 5 年度実績）

1 利用状況	31
2 図書館資料の状況	37

IV 県立長野図書館協議会

39

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況	40
2 県立長野図書館の沿革	41
3 施設概要	43
4 利用案内	44

I 令和 6 年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～

2021 年 7 月 16 日

県立長野図書館

使 命 (Mission)

県立長野図書館は、「共に知り、共に創る広場」として、
信州に関わるすべての人々が「自由に考え、意見を表明し、社会に参画し、意思決定することで、
個人と社会の幸福を追求する」という、民主的社会的な普遍的な価値を支えるため、
人類社会の文化的な発展と平和な世界に、将来にわたって寄与しつづけます。

展 望 (Vision)

- ① 「知る」…情報の改革：いつでもどこからでも、時間と空間を越えて、すべての人々が等しく情報入手し、活用し、成果を発信できるよう、人生を豊かにする創造的な学びの情報基盤を整え、情報格差を解消し、次世代へと継承していきます。
- ② 「出会う」…場の革新：考え、対話し、体験することを通じて獲得できる「実感ある知」の循環を生み出し、新しい価値を創り出すために、実空間と情報空間が融合する、開かれた場を形成します。
- ③ 「育む」…人の変革：いかなる社会変化にあっても、「知る自由」「学ぶ自由」を保障する図書館の本質的機能を、技術革新を取り入れながら最適化し、最大限活用できる人づくりに貢献します。

行動指針 (Value)

- ① 協働します：（Collaboration コラボレーション）
県内外の図書館や各種の文化施設・社会教育施設を始め、広く教育・学術界、産業界や社会的活動を行う人々と力を合わせます。
- ② 接続します：（Connecting コネクティング）
さまざまなコミュニティや人々が信州の自然や社会の営みの中で日々生み出す、「現場にある知」、「暮らしの中の知」をつなぎ合わせます。
- ③ 強みを生かします：（Competency コンピテンシー）
図書館の普遍的な役割である資料・情報の収集・保存・発信・活用について、専門的な知識・スキル・マインドを持つ職員を育成し、強みを生かして社会に貢献します。
- ④ 挑戦します：（Challenge チャレンジ）
市町村や公共図書館等の取組を下支えし、展開するとともに、自ら先進的なサービスを実験・実践することを通じて、人々と共に成長し、変化に強い図書館づくりに挑戦しつづけます。

2 取組方針

図書館は、「ミッション・ビジョン」に則り、県が設定する各種計画における位置づけに沿って館を運営し、事業を展開する。

令和5（2023）年度～9（2027）年度に取り組む主な計画では、「信州ナレッジスクエア」「電子図書館（電子書籍サービス）」の活用が明記され、関連機関との連携によって、資料・情報の充実、空間の提供、人材育成を行うこととしている。

● 「長野県総合5か年計画」しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために～

- ・ デジタル実装による地方の課題解決
- ・ 歴史や文化芸術に興味関心をもつタッチポイントの充実
- ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境の創出

● 「第4次長野県教育振興基本計画」 個人と社会のウェルビーイングの実現

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～

- ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり

● 「第2次長野県文化芸術振興計画」

～文化芸術の 価値を高め、支える、ひろげる、つなげる、信州のゆたかな未来～

- ・ 多様な分野における文化芸術の活用
- ・ 地域の文化芸術の推進力の強化
- ・ 地域の伝統文化の保存・活用

※ この他、「子ども・若者支援総合計画」、「自殺対策推進計画」、「過疎地域持続的発展計画」等にも位置付けられている。

計画に沿って取り組む

令和6年度取組方針

1. 資料・情報

いつでも・だれでも・どこからでも、県民が生涯にわたり「知る・学ぶ」ための「資料・情報」を、収集・保存・活用・発信できる情報基盤を安定運用し、紙とデジタルの特徴を生かした蔵書構築を進めます。

2. 空間・場

実空間である図書館の1～2階のフロア、3階の「信州・学び創造ラボ」を情報空間とつなぎ、それぞれの強みを生かし、融合させながら、日常的に知的活動が展開・循環する「場」を創出します。

3. 人材育成

潜在的な利用者を含めた、全ての県民の学び合い・知的な活動を支えるために、市町村図書館を始め、文化施設・教育機関、県内外の関心を共有するすべての人々と協働し、共に成長していきます。

4. 長野県 eLibrary 計画

図書館のさまざまな機能・サービスについて、それぞれ最適な方法でデジタル化・ネットワーク化を進めます。特に「信州ナレッジスクエア」の拡充と、電子書籍サービスによる学校との連携、地域資料のデジタル化・発信、読書バリアフリーを重点的に進めます。

3 令和 6 年度主要事業計画

(1) 資料・情報

- ア 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料（郷土資料）を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」とを戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担をし、蔵書構築を進める。
- イ 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身につけることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に事例を登録することで、調べ方を発信していく。
- ウ 情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。
- エ 収集した資料を県民が利用し、さらなる資料を「創造」していく支援を行う。
- オ 読書バリアフリーに資するサービスについて、分かりやすい広報を行う。

(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進

- ア 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニティづくりを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。
- イ 試行錯誤ができるツールとして「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな創造の仕組みを拡げていく。
- ウ 実空間と情報空間を融合させ、ICT を利活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。
- エ 図書館を、新しい出会いと発見が促される場と捉え、1 階児童図書室・2 階一般図書室における新しい発見・学びのプログラムを展開する。

(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援

- ア 司書としての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。
- イ 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押しする。
- ウ 広く社会教育に関わる分野や全国の取り組みを俯瞰したテーマ設定のもと、県民の学びを創発する機会として「信州発・これからの図書館フォーラム」等を開催する。
- エ 信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげることを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。

(4) 「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進

- ア 図書館機能の高度化の方策として、県内各種機関所蔵情報のデジタル化・公開支援、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化と、これらを融合し使いこなす学びを推進する。
- イ 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、地域資料（郷土資料）を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充するとともに、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。
- ウ 市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」によって、読書バリアフリー、学校と連携した活用、地域資料（郷土資料）の電子化・公開を進める。

4 組織及び事務分掌

(1) 職員の現員調（令和6年4月1日現在）

※ 令和2年度から非常勤職員は会計年度任用職員に移行した。

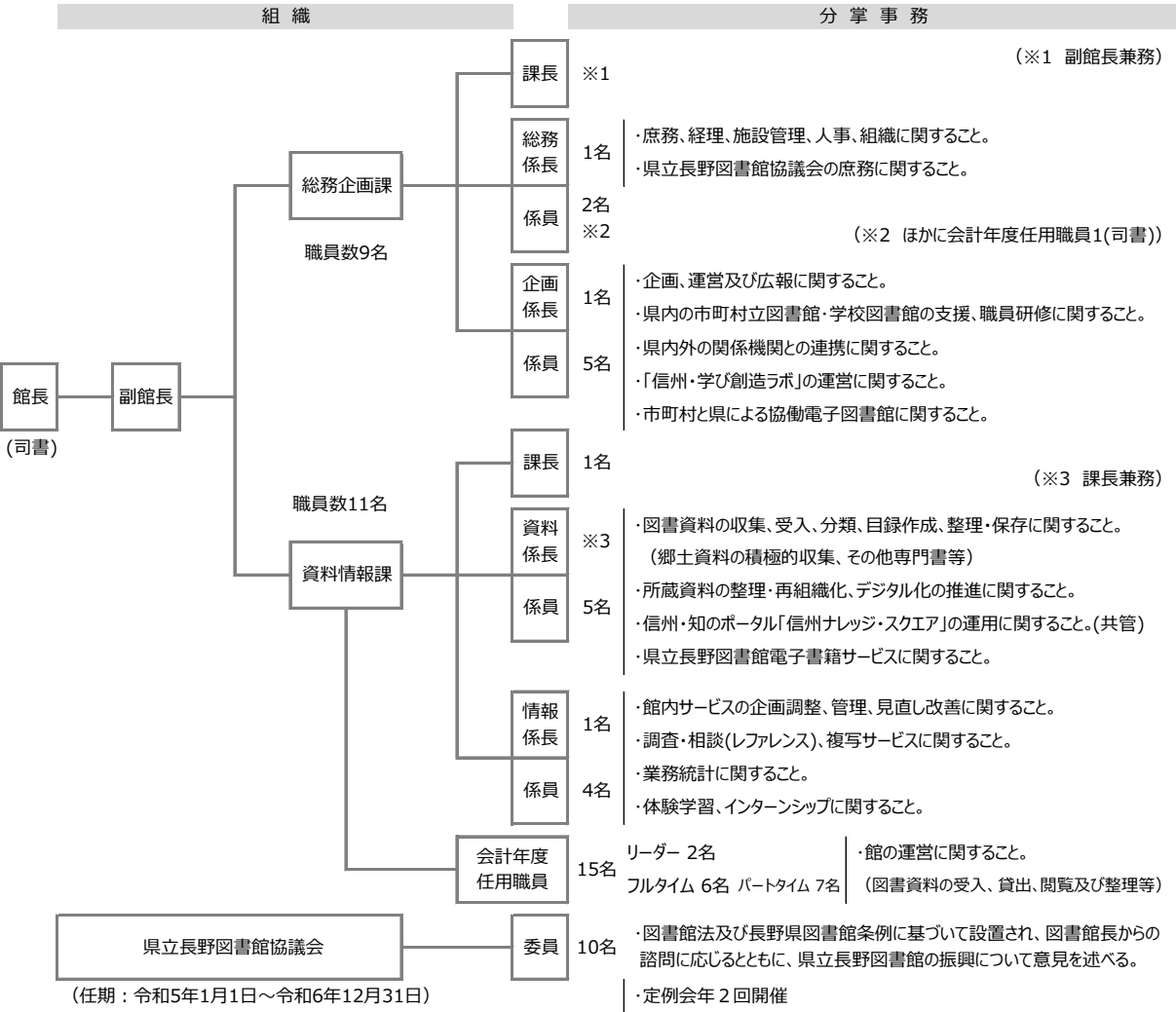
区分	常勤職員											会計 年度 ※	総数	摘 要	
	館長	副館長	課長	補佐	係長	専門幹	主幹	主査	主任	主事	計				
員 数	1	1	1	2	1	1	0	1	7	7	22	16	38	主任7のうち1名（司書）は、市町村研修派遣	
うち司書資格	1	0	0	1	1	0	0	1	5	6	15	16	31	主事7のうち任期付2(司書2)、 臨任1 ※会年年度職員 フル8・パート8	

(2) 職員数の推移（過去15年間）

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
常勤職員	員 数	24	22	24	24	24	23	23	21	20	21	21	20	21	21	22	22
	うち司書有資格	12	10	11	10	10	9	9	9	9	9	9	12	13	13	13	14
非常勤 ※	員 数	12	12	12	12	12	12	12	14	14	13	15	18	16	16	16	16
	うち司書有資格	10	10	12	11	11	11	12	14	14	13	14	17	15	15	15	16
計	総 数	36	34	36	36	36	35	35	35	34	34	36	38	37	37	38	38
	うち司書有資格	22	20	23	21	21	20	21	23	23	22	23	29	28	28	28	30

増減	単年度	常勤職員	0	-2	2	0	0	-1	0	-2	-1	1	0	-1	1	0	1	0
		うち司書有資格	0	-2	1	-1	0	-1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1
		非常勤職員※	0	0	0	0	0	0	0	2	0	-1	2	3	-2	0	0	0
		うち司書有資格	0	0	2	-1	0	0	1	2	0	-1	1	3	-2	0	0	1
		総 数	0	-2	2	0	0	-1	0	0	-1	0	2	2	-1	0	1	0
	累積（H21比）	うち司書有資格	0	-2	3	-2	0	-1	1	2	0	-1	1	6	-1	0	0	2
		常勤職員	0	-2	0	0	0	-1	-1	-3	-4	-3	-3	-4	-3	-3	-2	-2
		うち司書有資格	0	-2	-1	-2	-2	-3	-3	-3	-3	-3	0	1	1	1	2	
		非常勤職員※	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	3	6	4	4	4	4
		うち司書有資格	0	0	2	1	1	1	2	4	4	3	4	7	5	5	5	6
		総 数	0	-2	0	0	0	-1	-1	-1	-2	-2	0	2	1	1	2	2
		うち司書有資格	0	-2	1	-1	-1	-2	-1	1	1	0	1	7	6	6	6	8

(3) 組織及び事務分掌（令和6年4月1日現在）



5 予算

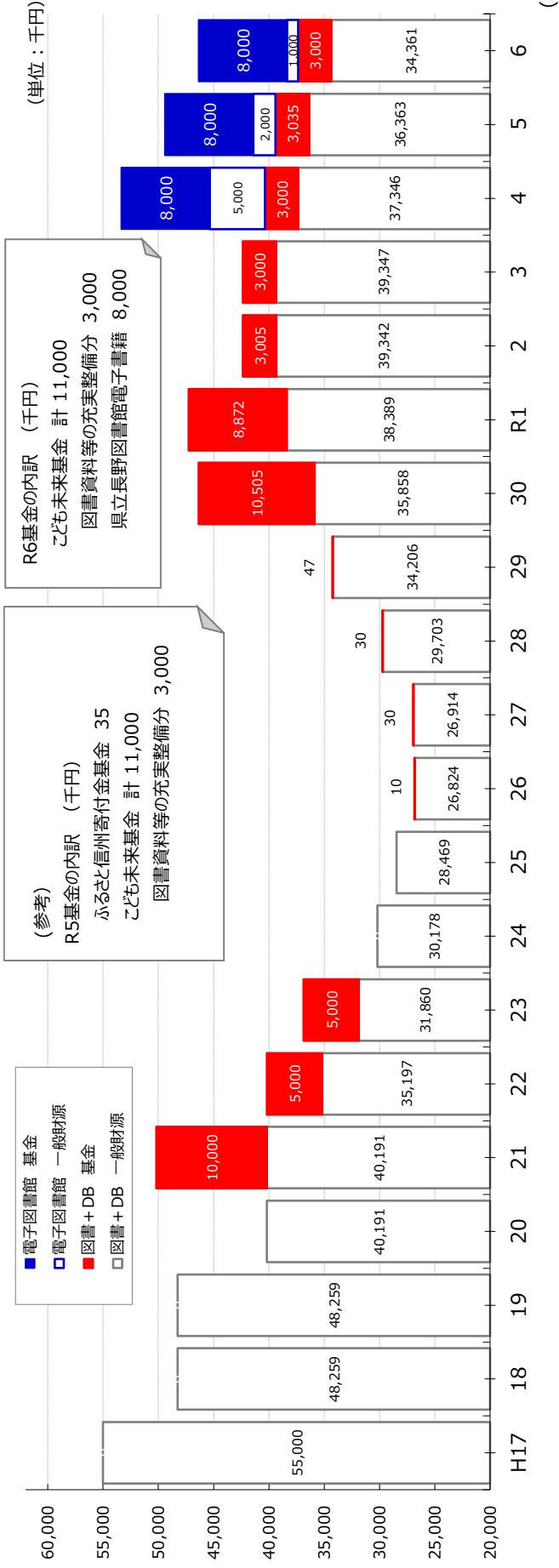
(1) 令和6年度図書館予算

(単位：千円)

区 分	項 目		令和6年度	令和5年度	増 減
管 理 運営費	人件費 (会計年度任用職員（司書）)		54,372	46,385	7,987
	庁舎管理委託		18,095	17,054	1,041
	光熱水費等		25,675	25,196	479
	管理運営費計 ①		98,142	88,635	9,507
コンピューター 管理費	システム/コンピューター借上等 ②		26,203	28,052	△1,849
図 書 館 事 業 費	図 書 館 資 料 の 充 実	一般図書	27,665	29,564	△1,899
		児童図書（学校支援を含む）	2,000	2,000	0
		新聞雑誌等	4,100	4,100	0
		データベース	3,596	3,734	△138
		電子図書館コンテンツ使用料	9,000	10,000	△1,000
		図書館資料費計	46,361	49,398	△3,037
	貸出図書郵送料		2,600	2,665	△65
	フォーラム・研修会費		1,006	1,205	△199
	業務用機器借上等		3,222	3,139	83
	「信州・学び創造ラボ」整備・運用		5,273	6,060	△787
	電子図書館初期設定費・システム改修費		0	0	0
	電子図書館プラットフォーム使用料		2,376	1,936	440
	所蔵資料デジタル化委託費		900	2,772	△1,872
	その他		846	803	43
	図書館事業費計 ③		62,584	67,978	△5,394
積 立 金	基金積立金 ④		1	1	0
合 計（①＋②＋③＋④）			186,930	184,666	2,264

	令和6年度	令和5年度	増減
市町村分担金 ⑤	8,000	26,000	△ 18,000
総合計 (合計+⑤)	194,930	210,666	△ 15,736

(2) 図書購入費（予算額）の推移



6

	年度	H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
図書 + DB 基金	一般財源	55,000	48,259	48,259	40,191	40,191	35,197	31,860	30,178	28,469	26,824	26,914	29,703	34,206	35,858	38,389	39,342	39,347	37,346	36,363	34,361
	コーラル（青年の船）					10,000	5,000	5,000													
	図書館充実																				
	子ども未来（企業局）																5				
	栗本基金																				
	ふるさと信州寄付金																				
	基金計	0	0	0	0	10,000	5,000	5,000	0	0	10	30	30	47	10,000	3,037	3,000	3,000	3,000	3,000	
電子 図書館 (※)	小計	55,000	48,259	48,259	40,191	50,191	40,197	36,860	30,178	28,469	26,834	26,944	29,733	34,253	46,363	47,261	42,347	42,347	40,346	39,398	37,361
	一般財源																				
	基金																				
	小計	55,000	48,259	48,259	40,191	50,191	40,197	36,860	30,178	28,469	26,834	26,944	29,733	34,253	46,363	47,261	42,347	42,347	40,346	39,398	37,361
	前年増減		△6,741	0	△8,068	10,000	△9,994	△3,337	△6,682	△1,709	△1,635	110	2,789	4,520	12,110	898	△4,914	0	10,999	△3,948	△3,037
	(%)		△12.3	0.0	△16.7	24.9	△19.9	△8.3	△18.1	△5.7	△5.7	0.4	10.4	15.2	35.4	1.9	△10.4	0.0	26.0	△7.4	△6.1

※電子図書館の令和6年度は、一般財源・基金とも当館の電子書籍サービス（KinoDen）のコンテンツに配当。（市町村と県による協働電子図書館負担分はなし。）
このほか、企業版ふるさと納税による寄付あり。令和5年度は、株式会社ファンクラス様、株式会社SUTTEKI様の御寄付により、郷土資料を整備。

Ⅱ 令和5年度事業実績

1 事業概要

(1) 利用状況

開館日数 入館者数 (日平均)	計 283日 380,226人 (1,344)	平日 175日 223,644人 (1,278)	土・日曜日 97日 141,464人 (1,458)	祝日 11日 15,118人 (1,374)
資料の個人貸出	計 97,066冊	一般図書 44,665冊	児童図書 52,401冊	
相互貸借	計 4,014冊	貸出 3,619冊	借受 395冊	
調査相談 (レファレンス)	計 6,696件	口頭 3,836件	電話 2,485件	メール他 375件
登録者	累計登録者数 103,454人	新規登録者数 3,055人		

(2) 図書資料等の状況

ア 所蔵資料

図書	計 772,955冊	一般図書 562,473冊	児童図書 99,794冊	郷土図書 110,688冊
フィルム等	マイクロフィルム 10,283リール	16ミリ映画フィルム 2,260本	ビデオ・DVD 3,214本	

※一般図書、児童図書は、外国語資料を含めた冊数。

イ 図書資料の購入等

	計	一般図書	児童図書	郷土図書
購入	8,891冊	6,321冊	1,392冊	1,178冊
寄贈等	4,370冊	1,683冊	125冊	2,562冊
除籍	294冊	224冊	47冊	23冊
計	12,967冊	7,780冊	1,470冊	3,717冊

ウ データベース

14タイトルのデジタル化情報を提供

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ① 信濃毎日新聞社「信濃毎日新聞データベース」 | ⑧ 農山漁村文化協会「ルーラル電子図書館」 |
| ② 朝日新聞社「朝日新聞クロスサーチ」 | ⑨ ネットアドバンス「ジャパンナレッジLib」 |
| ③ 日本経済新聞社「日経テレコン」 | ⑩ ジー・サーチ「JDreamⅢ」 |
| ④ 第一法規「D1-Law法情報総合データベース」 | ⑪ 読売新聞社「ヨミダス歴史館」 |
| ⑤ 国立印刷局「官報情報検索サービス」 | ⑫ 毎日新聞社「毎案」 |
| ⑥ 国立国会図書館デジタルコレクション | ⑬ 日本統計センター「市場情報評価ナビMieNa」 |
| ⑦ 信州デジタルcommons（旧・信州デジくら） | ⑭ 中日新聞社「中日新聞・東京新聞記事データベース」 |

2 展示・企画展の実施及びインターンシップ等の受入状況

(1) 企画・展示

内容	実施期間・場所	概要
岩波文庫コレクション	通年 ナレッジラボ	岩波書店創業者・岩波茂雄の出身地が長野県であることから、藤村浩平氏のご子息より寄贈された。 収集されていた図書約8,000冊をナレッジ・ラボで常設展示。
夏休み特別企画 「ナツとしよ2023」 図書館ウラガワ探検隊	R5.8月4日～10日 書庫・整理室 午後1回開催	玄関ロビーに集合し、図書館職員の案内で普段は立ち入ることのできない図書館のバックヤード見学を実施。
図書館攻略大作戦	R5.8月8日～10日 1階児童図書室 午後1回開催	スタンプラリー形式の、手と足と頭を使って図書館内の機能と資料を探検するゲームを実施。
「情報をうみだす」POP展示	R5.7月～R6.2月 2階一般図書室	職場体験学習の一環として学生が選書した本の紹介。 テーマを決め選んだ5冊の本をもとにPOPを作成。 より多くの本を手にとってもらうための手段として、いかに情報を伝えられるかを考えた展示。
研究成果発表パネル& 関連資料展示	R5.12月5日～19日 2階一般図書室 ナレッジラボ	一般財団法人長野県科学振興会が毎年行っている「科学研究費助成金」を受けた研究成果のパネル展示と、各テーマを概観することができる図書館所蔵の資料を展示。
信州情報探索ゾーン	通年 3回信州学び・創造ラボ	110年にわたる信州の知の営みを感じられるように、県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書資料や、戦時中に検閲処分を受けた資料等を展示。
「晴館雨デン」	R5.7月～ 2階一般図書室	県立長野図書館電子書籍サービス(KinoDen)で購入した図書を紹介するための展示。 紙の本と電子図書館で重複している本を集めつつ、紙だけでない新しい読書のカタチを提案することを目指した。 7月、10月、1月の3回で入れ替えを行った。
災害に備える	R6.1月～2月 2階一般図書室	1月1日の能登半島地震を受けて開催。 災害時に知っていると役立つ知識の図書だけでなく、アウトドアやレクリエーションなど楽しみながら災害時にも活かせる内容の図書、長野県「防災情報ポータル」などの困ったときに確認できるサイトを紹介するパネル等を展示。 長野ケーブルテレビのニュースでも取り上げられた。
追悼・小澤征爾	R6.2月 2階一般図書室	長野県にも関係の深い小澤征爾氏の訃報を受けての展示。 本人の著作や対談等の資料を始め、同氏のエピソードが語られているエッセイ、『信濃毎日新聞』の特集記事の展示等を行った。

(2) 児童図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
ブックスプラウト	1期 「コワイがいっぱい?!」	R5.7月～9月
	2期 「わたしの中のヒーロー・ヒロイン」	R5.10月～12月
	3期 「この世はいつだってサバイバル！」	R6.1月～3月
	4期 「“わたし”コーディネート」	R6.4月～6月
児童展示	「どこに行く？」【夏休み】	R 5. 7 月
	「大切な家族」【9月敬老の日】	R 5. 8 月
	「大空を見上げたら？」【お月見】	R 5. 9 月
	「いたずらしているのはだれ？」【ハロウィーン】	R 5.10月
	「クリスマス」	R 5.11月
	「お正月」【年末年始】	R 5.12月
	「雪遊び」	R 6. 1 月
	「ラッピング、お菓子作り」【バレンタインデー・ホワイトデー】	R6.1月～2月14日
	「まだ見ぬ世界へ」【未来・将来に向かって】	R6.2月15日～3月
	「前を向いて進もう！」	R 6.3月～
	ふるさと	R 6.1月～
	読書感想文コンクール	R 5.7月～8月
	自由研究	R 5.7月～8月

(3) 一般図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
信州の記録する記	「伝統工芸品」(国指定)	R 5.3月～6月
	「信州のスポーツを取り巻く環境」	R 5.7月～12月
	「文学の中の信州」	R 6.1月～
はまたらぶく・	「働き方を考える」	R 4.7月～
	「信州【棲まう】	R 5.9月～
自然とからだ	「介護コーナー」／「がんコーナー」	R3.10月～

(4) ブック・スプラウト

※ブック・スプラウトとは…新しい視点（発想の新芽）で蔵書を紹介するコーナー

区分	内 容	実施期間
信州の暮らしの記録する	1期 「信州をまわる／記憶をたどる（道×運ぶ編）」	4月～6月
	2期 「まかふしぎ信州」	7月～9月
	3期 「郷に入っては郷に従え？」	10月～12月
	4期 「100年前の全国1位」	1月～3月
私たちどこからきたか	1期 「掌上に運らす（しょうじょうにめぐらす）」	4月～6月
	2期 「らんまん’の時代を旅する」	7月～9月
	3期 「笑えるほど 笑えないったら！」	10月～12月
	4期 「「当たり前」から自由になる」	1月～3月
はまたなぶく・	1期 「福を運ぶ・思いを運ぶ・災いを運ぶ」	4月～6月
	2期 「推しに一票」	7月～9月
	3期 「より良い物質の創造」	10月～12月
	4期 「勉強って何なんだ！？」	1月～3月
自然からか	1期 「これも運命？」	4月～6月
	2期 「暑い日を快適に過ごすには」	7月～9月
	3期 「色彩」	10月～12月
	4期 「毒／解」	1月～3月
音・身体・こば・	1期 「海を渡って運ばれたものたち」	4月～6月
	2期 「身体×○○／音×○○／絵×○○」	7月～9月
	3期 「書く・描く／奏でる♪／V S」	10月～12月
	4期 「祈りのカタチ／書く・記す／表現者」	1月～3月

(5) 視察・見学等

期 日	期 間	人数	相手先	目 的
4月21日	1時間	1	上田女子短期大学教授見学	図書館見学
5月22日	2時間	1	鶴見大学教授見学	図書館見学
6月1日	1.5時間	10	清泉女学院大学 館内見学	図書館見学
6月7日	2時間	2	山形県立図書館電子書籍サービス先進地視察	図書館視察
6月21日	1時間	2	育て上げネット視察	図書館視察
7月9日	2時間	4	千葉県立中央図書館視察	図書館視察
7月11日	1.5時間	30	全国都道府県教育委員会連合会視察	図書館視察
7月25日	1.5時間	3	浦安市議会視察	図書館視察
8月8日	2時間	6	日本図書館協会施設委員会有志 見学	図書館見学
8月16日	2時間	2	東北学院大学教授見学	図書館見学
8月22日	2時間	20	上水内公民館運営協議会公民館研修 見学・懇談	図書館見学
8月26日	1.5時間	5	広島県立図書館視察	図書館視察
10月4日	1時間	5	塩尻市立図書館視察	図書館視察
10月12日	2時間	2	福岡県立図書館視察	図書館視察
10月12日	1時間	5	裾花中学校地域探求学習	探究学習
10月13日	2.5時間	1	教育次長視察・懇談	図書館視察
10月18日	2時間	2	栃木県総合政策部視察	図書館視察
10月19日	1.5時間	10	信州大学・北海道教育大学教授視察	図書館視察
10月19日	0.5時間	8	中条小学校3年生社会見学	図書館視察
10月21日	4時間	21	松商短大司書課程 館内見学	図書館視察
10月27日	2時間	1	LRG視察	図書館視察
11月7日	1時間	40	裾花幼稚園・お仕事見学	図書館見学
11月9日	1.5時間	2	中野西高校探究学習インタビュー	探究学習
11月17日	1時間	40	松代小学校5年見学	図書館見学
12月1日	2時間	2	大分県立図書館視察	図書館視察
12月21日	2時間	2	宮城県教育庁視察	図書館視察
12月19日	1時間	2	松本市図書館関係職員視察	図書館視察
2月7日	2時間	2	新潟県立図書館職員視察	図書館視察
2月16日	1時間	33	吉田小学校6年1組 作成記念誌贈呈＋館内見学	図書館見学
2月28日	2時間	6	栃木県教育委員会事務局生涯学習課	図書館視察
2月29日	2時間	2	岩手県立図書館視察	図書館視察
3月12日	2.5時間	31	古里小学校3年2組 県立図書館見学(総合学習)	図書館見学
3月21日	4時間	7	文部科学省・長野県教育委員会懇談・視察	図書館視察
3月26日	2時間	5	松本第一高校先生視察・交流	図書館視察
3月28日	1時間	2	アンフォーレ安城市視察	図書館視察
合 計		317 人		

(6) ア 職場体験学習等受入

期 日	期 間	人数	相手先	目 的
7月6日	1日	1	豊野中学校	職場体験学習
7月13.14日	2日	4	犀陵中学校	職場体験学習
7月20.21日	2日	3	篠ノ井西中学校	職場体験学習
7月27日	1日	1	豊野高等専修学校	職場体験学習
10月12日	1日	4	東北中学校	職場体験学習
11月30日	1日	35	篠ノ井東小・塩崎小特別支援学級	図書館体験学習
12月8日	1日	1	若槻養護学校	職場体験学習
2月8日	1日	4	第一学院高校職業体験	職場体験学習
合 計		53 人		

イ 大学生インターンシップ

期 日	期 間	人数	相手先	目 的
8月31日～ 9月13日	10日間	1	筑波大学	図書館実習
		1	佛教大学	図書館実習
合 計		2人		

3 調査相談の状況

(1)調査相談の内訳

(単位：件)

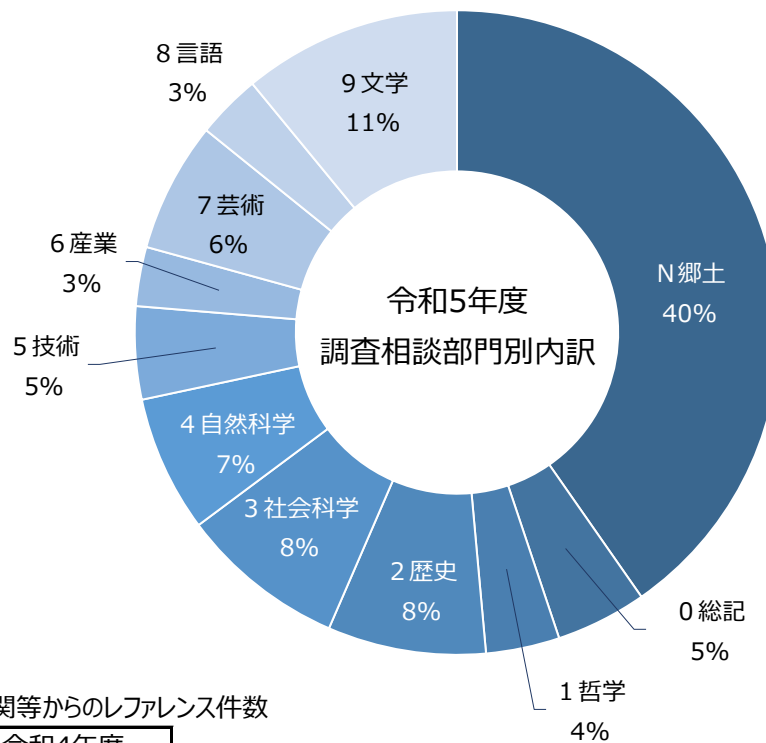
項目		令和5年度					令和4年度				
		口頭	電話	メール	FAX 文書	小計	口頭	電話	メール	FAX 文書	小計
部門別内訳	N郷土	515	111	220	37	883	250	93	234	43	620
	0 総記	54	9	0	37	100	32	1	4	0	37
	1 哲学	64	13	4	0	81	37	11	0	0	48
	2 歴史	124	39	5	6	174	119	23	6	0	148
	3 社会科学	141	34	7	0	182	96	47	19	0	162
	4 自然科学	133	13	4	0	150	98	9	1	0	108
	5 技術	91	11	0	0	102	68	14	1	0	83
	6 産業	53	12	0	0	65	61	4	5	2	72
	7 芸術	96	22	5	20	143	98	27	5	42	172
	8 言語	56	12	3	0	71	33	15	4	0	52
	9 文学	199	35	6	0	240	129	34	4	3	170
	E絵本	87	8	0	0	95	120	12	0	0	132
新聞・雑誌		112	64	15	6	197	58	62	30	1	151
利用案内		2,111	2,102			4,213	1,376	2,063			3,439
合計		3,836	2,485	269	106	6,696	2,575	2,415	313	91	5,394

※N郷土は、N0類～N9類に関する調査の調査件数を合計したもの。

※部門別内訳の0総記～9文学は、一般と児童に関する調査件数を合計したもの。

※新聞・雑誌は、郷土、一般、児童に関する調査件数を合計したもの。

※円グラフには、新聞・雑誌と絵本の調査件数は含まない。



(2) 図書館・行政機関等からのレファレンス件数

令和5年度	令和4年度
62	69

※(1) 調査相談の内訳表の内数

(3) 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」登録件数・被参照数

(単位：件)

項 目	令和 5 年度		令和 4 年度	累計（令和 5 年度末）	
	レファレンス事例	調べ方マニュアル	レファレンス事例	レファレンス事例	調べ方マニュアル
登録件数	210	5	226	2,068	30
被参照数	465,239	19,054	383,894		

※被参照数は、web 上で一般の利用者や他の図書館に検索して見られた件数

※登録件数は一般公開、参加館限定公開、自館のみ公開の区分で登録した事例の合計件数

※R5 年度から、調べ方マニュアルの件数を追加した。

当館では、レファレンス事例をインターネットを介して多くの方が利用できるよう、国立国会図書館が提供する「レファレンス協同データベース」への登録を積極的に行っている。

この事業について、登録数が多い参加館、又はアクセスが多い参加館に贈られる礼状を、7 年連続で国立国会図書館長から受領した。

礼状の対象となった項目は次のとおり。（データの公開レベルに応じてポイント化し、基準※を達成）

また、調べものに役立つ情報を紹介する「調べ方マニュアル」で、当館の事例「『信濃毎日新聞』に掲載されている訃報の調べ方」が 2023 年の全国年間アクセス数ランキングで 1 位になった。

※基準については「[レファレンス協同データベース](#)」を参照

- ・年間データ登録ポイント：**663** ポイント
- ・調べ方マニュアルの累計データ登録ポイント：**236** ポイント
- ・年間データ被参照件数：**440,641** ポイント

対象期間：令和 5 年 1 月から 12 月まで

令和 5 年度に寄せられた質問【抜粋】

※文末の（）内数字は「レファレンス協働データベース」での被参照数

郷土に関する質問

[「長野県の方言で、ユスリカのことを「ヘッドブンブン」と呼んでいるか知りたい」](#)（3361）

[「大糸線中萱駅「ながやえき」の開業日はいつか」](#)（748）

[「長野県諏訪の周辺から東京の大森へ出稼ぎに来ていた人たちについて知りたい。特に海苔問屋に来ていたらしい。」](#)（637）

一般に関する質問

[「ドラマの中で失恋後に海に行くシーンがあったが、失恋後に海に行く理由や起源があれば知りたい」](#)（1964）

[「映画監督・小津安二郎の言葉「なんでもないことは流行に従い、重大なことは道徳に従う。芸術のことは自分に従う。」の
出典を知りたい。」](#)（1852）

[「左利きの作家を知りたい。」](#)（700）

当館のレファレンス協同データベースへ登録した事例の一覧は、県立長野図書館のホームページから閲覧可能です。（<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/collection/reference/index.html>）

また、二次元バーコードからもアクセスできます。



4 市町村立図書館等との協働、支援

(1) 市町村図書館等運営に関する相談

県内の公共図書館・公民館図書室・学校図書館等と連携し、協働体制を整えた。

また、運営上の様々な相談・図書館設置に向けての助言・提案等を行った。

ア 北信公共図書館連絡協議会館長・庶務担当者会議

令和5年6月1日（長野市立長野図書館）

イ 北信公共図書館連絡協議会研修会

令和5年12月1日（坂城町立図書館）

ウ 第51回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和5年9月5日（筑北村図書館）

エ 第52回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和6年3月1日（安曇野ちひろ美術館）

※市町村図書館等を対象にした研修事業については「5 フォーラム・研修会の開催」に掲載

オ 白馬村図書館協議会及び図書館等複合施設検討委員会へのアドバイザー出席

カ 佐久市立図書館建替再整備検討委員会の委員として出席

(2) Facebook ページを活用した情報発信

「県立長野図書館」..... 信州の「図書館のある暮らし」に関する情報発信

「信州発・これからの図書館フォーラム」..... これからの図書館が進む方向についての提案・情報提供

「山に見える図書館—信州のまち・ひと・としょかん」... 県内の図書館に関する情報発信

「信州・学び創造ラボ」..... 県民が主体となる“共知・共創”の場としての活用提案と活動報告

「信州ナレッジスクエア」..... 信州の情報を繋ぐポータルサイトに関する情報発信

(3) 図書館業務関連調査実施及び結果の提供状況

名称	調査期間	対象館	
公共図書館概況調査	令和5年4～6月	120 館	長野県内公共図書館の概況調査 (結果は HP に公開)

(4) 長野県図書館大会企画運営委員会の事務局運営

ア 企画運営委員会の開催 令和5年6月27日

イ 大会実行委員会と連携して、第73回長野県図書館大会を開催 参加者計 319 人

日程 令和5年10月28日（大学専門図書館部会は10月27日、高校図書館協議会は11月10日）

会場 松本市音楽文化ホール＋サテライト会場（1会場）

大会テーマ..... 楽しみのある図書館をつくろう ～読む楽しみ・学ぶ楽しみ・交流する楽しみ～

基調講演「学校と図書館と本 ～軽井沢風越学園の挑戦～」

（講師 軽井沢風越学園校長 岩瀬直樹氏）

5名による実践事例発表

2グループによるグループトーク

(5) 長野県図書館協会との連携・協力

ア 公共図書館部会事務局運営による事業実施

(ア) 幹事会の開催 令和5年4月28日 オンライン

(イ) 公共図書館長会議の開催.....参加者 43 人

令和5年5月25日 青木村文化会館

(ウ) 長野県図書館大会分科会の運営

令和5年10月28日(松本市音楽文化会館+1 サテライト会場)

(エ) これからの公共図書館研究会の開催

○図書館サービス計画(13 名 1 回)

・サービス計画等の情報共有と、今後の研究会のあり方の検討

○学びのプログラム・学校連携(15 名 5 回)

・発達段階に応じた子どもの読書活動・情報活用教育の体系化を現場と連携して考える

・公共図書館の児童サービスとしての、子どもの学びに資するプログラム事例

○デジタル活用(0 回)

○資料活用・レファレンス(24 名 4 回)

・レファレンス技術、ツールの共有と伝達、および資料活用の方策を探る

イ ステップアップ(専門)研修への参加・協力

令和6年1月25日 県立長野図書館参加者.....参加者 13 人

「地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために」

(6) その他機関との連携・協力

ア 信州大学附属図書館との連携・協力

平成27年8月に締結した連携覚書に基づき、双方の職員交流研修を隔年で実施(令和5年度実施)

イ 国立情報学研究所教授高野明彦氏との連携・協力

「知のポータル」の構築をはじめとする信州の情報基盤構築に向けて、アドバイスや支援等を受けるための協定を平成30年10月に締結

ウ 株式会社カーリルとの連携・協力

新たな図書館サービスの構築に向けての調査研究等を推進するための協定を平成30年10月に締結

エ 株式会社バリューボックスとの連携・協力

本を使った社会貢献活動や新たなコミュニティの創造等、双方が持つスキルを活用した本をめぐる新しいサービスを実現するための協定を平成31年4月に締結

オ 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・FabLab 長野および株式会社アソビズムとの連携・協力

長野県内のものづくりを通じた創造的な学びのプロセスを整え、共通プラットフォームをつくるための協定を平成31年4月に締結

カ 長野県立美術館との連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和4年7月に更新

キ 長野県埋蔵文化財センターとの連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和5年6月更新

(7) 市町村と県による協働電子図書館（デジとしよ信州）

県内 77 市町村と協働して、令和 4 年 8 月 5 日から電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を開始した。この取り組みに対し、令和 5 年度は、全国知事会「先進政策バンク」の「令和 5 年度先進政策大賞」及び、「デジタルソリューション・アワード」に選定された。また、同年 11 月、一般社団法人プラチナ構想ネットワークが実施する第 11 回プラチナ大賞において、「優秀賞地域パートナーシップ賞」を受賞した。

※詳細は p.22 参照。

5 フォーラム・研修会の開催

(1) 信州発・これからの図書館フォーラム 新シリーズ「共知・共創の広場ーもう一歩踏み出す」

期日・場所	内容	講師等	参加者
9/2（土） 県立長野図書館 オンラインハイブリット 13:00～16:30	【信州発・これからの図書館フォーラム】 信州の「はたらく」を考える vol.3	株式会社コト代表取締役 瀧内 貴 氏 NPO 法人グリーンズ 理事 /「さとのぼ大学」副学長 兼松 佳宏 氏 合同会社 T.A.R.P 代表 / YONG architecture studio 主宰 永田 賢一郎 氏 暮らしと建築 須永 理葉 氏 一般社団法人小布施まちイノベーション HUB 理事・事務局長 日高 健 氏 一般社団法人ローカルイノベーションイニシアチブ 共同代表 杉山 豊 氏	16
12/14・15 ホクト文化ホール 県立長野図書館 オンラインハイブリット	合同開催【信州発・これからの図書館フォーラム】 兼令和5年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門） 関東地区公共図書館協議会 運営研究会、これからの公共図書館研究会 「児童・青少年と共にある本・情報・人の広場ー図書館から世界の窓を開こうー」	児童書作家 杉山 亮 氏 青山学院大学教育人間科学部教育学科准教授 庭井 史絵 氏 高森町立高森北小学校・学校司書・高森町子ども読書支援センター 宮澤 優子 氏 松川村図書館 館長 棟田 聖子 氏 長野県木曽青峰高等学校国語科教諭 米山 直実 氏 株式会社バリューブックス 中村 聖徳 氏/西山 卓郎 氏	587

(2) 図書館の機能についての一般向け研修・講座

期日・場所	内容	講師等	参加者
7/16（土） 県立長野図書館 13:30～16:30	「信州・学び創造ラボ」ラボ・デザイン会議 # 1 3 生成 AI と図書館であそんでみる？	アカデミック・リソース・ガイド株式会社デザイナー・ディレクター 李 明喜 氏 株式会社カーリル 代表取締役・エンジニア 吉本 龍司 氏	25
8/4～8/10 県立長野図書館	ナツとしょ 図書館バックヤードツアー・図書館攻略大作戦	県立長野図書館職員全員	76
8/18(金) 10:00～12:00 13:00～15:00 県立長野図書館 若里公園	図書館のおしごと体験（探究・レファレンス）	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 干川 優 金子 明代 佃 笙子 佐藤 美由紀 黒石 紗妃 師田 かおる 櫻井 春風	5
8/3（木） 県立長野図書館 10:00～16:00	「令和5年度林業士入門講座」 山村地域で森林を活かし地域の人とともに行動するために必要となる情報と、それを活用するための実践的なスキル獲得	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 干川 優 畔上 友里 小林 百合 内川 翼 佃 笙子	4
8/25(金) 長野県 林業総合センター 9:00～16:00	「令和5年度林業士入門講座」 受講者自身による、森からの情報発信と、フィードバックを得、活用する。	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 干川 優 畔上 友里 小林 百合 内川 翼 佃 笙子	4
10/26(木) 県立長野図書館 オンラインハイブリット 9:00～16:00	「令和5年度林業士入門講座」 プレ発表 森林・林業を軸に地域で生きていくための試み	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 干川 優 畔上 友里 小林 百合 内川 翼	12

		佃 笙子	
--	--	------	--

(3) 階層別及び技能別に実施する研修事業

期日・場所	内容	講師等	参加者
5/25(木) 青木村文化会館 オンラインハイブリット 10:30～16:00	長野県公共図書館長会議 【基調講演】 「図書館の経営を考えるー誰のため何のための図書館かー」 【情報提供】 「信州地域史料アーカイブの紹介とデジタル化のために」 【グループ討議】 会場での参加者どうし・ZOOM の参加者どうしが、グループでディスカッション	県立長野図書館館長 森 いづみ 元塩尻市立図書館長・大学非常勤講師 伊東 直登 氏 長野県図書館協会会長（元上田市立図書館長） 宮下 明彦 氏	43
6月～ 視聴研修	「公共図書館職員初任者研修（講義）」	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 槌賀 基範 柳沢 磨三代	69
7/5(水) 県立長野図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 干川 優 畔上 友里	24
7/6(木) 伊那市立伊那図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 干川 優 畔上 友里	15
7/7(金) 市立大町図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 干川 優 畔上 友里	14
7/11(火) 東御市立図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 干川 優 畔上 友里	16
9/15(金) 県立長野図書館 13:00～17:00	長野県公共図書館長研修会 浜松市文化遺産デジタルアーカイブの構築と活用、効果等について 「デジとしょ信州」オリジナルコンテンツ作成の実務と活用例 オリジナルコンテンツチームからの報告 「信州デジタルコモンズ」コンテンツ登録の実際と著作権処理 東伊那公民館による『区誌』編さんとデジタルアーカイブ	浜松市立中央図書館 調査支援グループ長 吉田 佐織 氏 生坂村公民館図書室 丸山 智誉 氏 駒ヶ根市東伊那公民館長 春日 由紀夫 氏 県立長野図書館司書 槌賀 基範	58
9月～3月 オンライン	中堅職員育成研修会（これからの公共図書館研究会） ○図書館サービス計画(13名 1回) ○学びのプログラム・学校連携(15名 5回) ○デジタル活用(14名 0回) ○資料活用・レファレンス(24名 4回)	県立長野図書館長 森 いづみ 篠田 尚利 金子 明代 干川 優 佃 笙子 槌賀 基範 町田 真弓 柳沢 磨三代 畔上 友里 内川 翼	76
1/25(木) 14:00～16:30	図書館職員等人材育成研修会（ステップアップ専門研修会） 地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 槌賀 基範	13

(4) 各地域における図書館職員等研修実施及び連絡会への出席

期日・場所	内容	講師等
6/30（金） 白馬村役場 302 会議室 15:45～17:00	第 1 回白馬村図書館協議会	県立長野図書館司書 篠田 尚利
6/30（金） 飯田市立中央図書館 13:30～15:00	下伊那図書館協会会議	県立長野図書館司書 千川 優 小林 百合
8/22(火) 県立長野図書館 13:00～15:00	上水内公民館運営協議会公民館研修	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 町田 真弓 千川 優
9/5(火) 筑北村図書館 13:30～15:30	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館司書 篠田 尚利
9/14(木) 13:00～16:00 南安曇農業高等学校図書館	SLA 安曇支部司書部会 学習会	県立長野図書館司書 千川 優
10/21(土) 10:00～17:00 市立大町図書館	ウィキペディアタウン in 大町	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 篠田 尚利 千川 優
10/3（火） 13:30～16:00 サングリモ中込佐久市中込交流センター	第 4 回佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会	県立長野図書館館長 森 いづみ
12/1（金） 坂城町図書館 13:00～17:00	北信公共図書館連絡協議会職員研修会 資料修理	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 千川 優 金子 明代 黒石 紗妃
1/24(水) 15:00～17:00 松本市博物館	「松本市中央図書館あり方検討委員会」のその後を考える会	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 篠田 尚利
1/31（水） 13:30～15:00 佐久市立中央図書館	第 5 回佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会	県立長野図書館館長 森 いづみ
3/1（金） 安曇野ちひろ美術館 13:30～15:30	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 篠田 尚利
3/14(木) 白馬村図書館 15:45～17:00	第 2 回白馬村図書館協議会	県立長野図書館司書 篠田 尚利

6 信州・学び創造ラボ

「共知・共創（共に知り、共に創る）」をコンセプトに、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場を目指し 2019 年 4 月 6 日に開設。これからの図書館や公共空間のあり方を考える実験室として、また、信州のこれからの学びの姿を試し体感できる場所として運用している。



(1) 各フロアコンセプト

信州情報探索ゾーン – 信州の「知の営み」を体感する

県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書、戦時中に検閲処分を受けた資料などを六角スペース内に展示し、信州の過去と未来をつなぐデジタルな情報源も埋め込む。奥には畳コーナーやカラフルなクッションフロアを設け、利用者の自由な発想を促し、様々な活動に結びつくことを見込んでいる。

Co-Learning ゾーン – 多様な情報や人がつながり、アイデアをかたちにする

ワークショップやミーティングなど、グループでの活動を実現するエリア。PC 接続モニター、ホワイトボード、電子黒板など、対話をその場で可視化しながら共有できる機能を設けた。そこで生まれたアイデアを具体化し、一般利用者の知的好奇心を喚起する設備として、キッチンブースやマイクロライブラリーを設置している。

モノコトベース – アウトプットからはじまる学び

UV プリンターやレーザーカッター等の工作機器を中心に設けたメイカースペース。創造的な学びのプロセスを実感し、アウトプットすることが次の学びにつながる循環の場となることを意図している。個人単位での利用は目的にしておらず、興味・関心が重なる仲間とともにコミュニティをつくり、自由で自立的な空間の形成を目指す。

(2) 主な取組等

空間デザインや運営のあり方について、整備段階から一般参加者と共にワークショップで議論を重ねてきた。オープン後も継続し「ラボ・デザイン会議」「Labo.café」の形で定期開催している。（テーマは毎回異なる）

※はオンラインを含む開催形式（主会場、サテライト会場を含む）

区 分	内 容（令和5年度）
「モノコトベース」 関係の催し	・モノコトベース・オープンデー／ものづくりコミュニティミーティング（月1回） ・利用カードデザインワークショップ（週1回、2024年1月～隔週開催）
主催・共催企画	・ラボ・デザイン会議（生成AIと図書館で遊んでみる？） ・林業士入門講座 ・これからの図書館フォーラム（「信州」のはたらくを考える vol.3） ・信州大学中央図書館講演会・昼どきセミナー・トークイベント サテライト会場 ・長野県図書館大会（楽しみのある図書館をつくろう～読む楽しみ・学ぶ楽しみ・交流する楽しみ etc～） ・これからの図書館フォーラム（共同開催 全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門 児童・青少年と共にある本・情報・人の広場 ―図書館から世界の窓を開こう―） ・ラボカフェ（幸せを考える本棚づくりの会2） ・ラボカフェ（ながの地域まるごとキャンパス中間報告会・座談会） ・ラボカフェ（モノコトベースの機器の将来を考える会） ・ラボカフェ（旅する本箱 #1 #2）
視察・取材・見学	自治体、図書館および教育機関、テレビ収録等（39件）

(3) 管理運営等

区 分	役 割
図書館職員	・施設配置、利用方法等の案内や説明 ・利用者同士の交流、利用者による自立的運営を促す機会を提供 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援
トレーナー （委託契約）	・ラボ運営の核となる団体を県内各地から新たに発掘 ・人と人をつなぐワークショップの開催 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援
利 用 者	・利用者コミュニティの組織化 ・自主的な施設の管理運営方法を検討し実施

7 電子書籍サービス

(1) 県立長野図書館電子書籍サービス

令和 4 年 8 月 5 日から、紀伊國屋書店の「KinoDen」による電子書籍サービスを開始した。
(県立長野図書館利用カード所持者が、当館ホームページ内の「マイライブラリー」にログインすることによって閲覧可能となる、リファラ認証方式による。)

令和 5 年度末タイトル数 (a)	1,279 タイトル
令和 5 年度中閲覧タイトル (b)	723 タイトル
総閲覧数 (c)	2,801 回

利用率 (全コンテンツのうち利用されたコンテンツの割合 b/a)	56.5%
回転率 (1 コンテンツの平均利用回数) (c/a)	2.2 回

(2) 市町村と県による協働電子図書館 (デジとしよ信州)

令和 4 年 8 月 5 日から市町村と県との協働による電子図書館「デジとしよ信州」によるサービスを提供した。

令和 5 年度末 ID 数 (a)	18,281 ID
令和 5 年度末コンテンツタイトル数 (b)	27,963 タイトル※
令和 5 年度末貸出件数 (総閲覧数) (c)	134,240 回

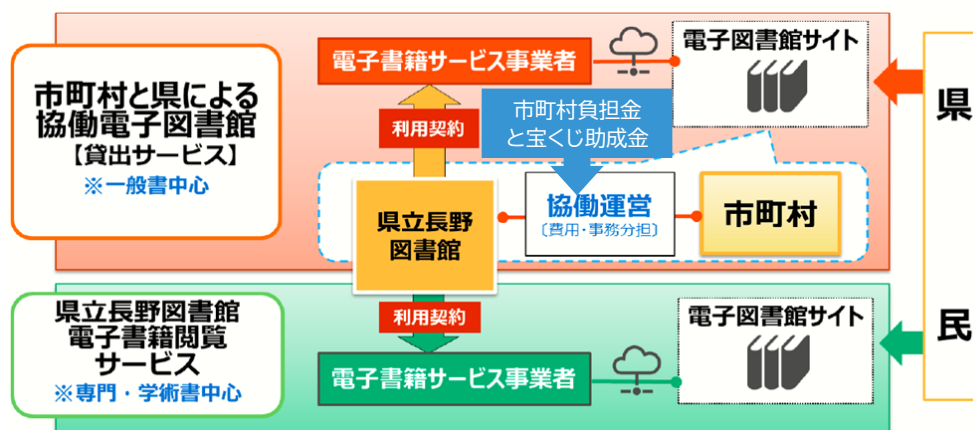
1 ID の平均利用回数 (c/a)	7.3 回
1 コンテンツの平均利用回数 (c/b)	4.8 回

※購入タイトル数は 16,707

(3) アクセシブルライブラリー

視覚障がい者向けの「市町村と県による協働電子図書館 (デジとしよ信州)」のサービスとして、令和 5 年 5 月から開始。

- ・コンテンツ数 17,012 タイトル
- ・県内登録者数 25 人



電子書籍サービス全体図

8 読書バリアフリーサービス

(1) データベース類

・サピエ図書館

全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するインターネットによる視覚障害者情報総合ネットワークに令和2年4月より加盟。サピエ図書館及び全国約220の加盟施設・団体が登録したデータをダウンロードし、デジタイズ図書を作成のうえ、貸出。

・視覚障害者等用データ送信サービス承認館

国立国会図書館より視覚障害者等用データの送信を受けることができる。
令和6年1月承認。

・アクセシブルライブラリー(P22 参照)

デジとしよ信州の機能の一つである「アクセシブルライブラリー」(視覚障がい者専用の電子図書館サービス)の登録を令和5年5月より開始。
利用者IDカードは、県立長野図書館もしくは最寄りの図書館へ申込が必要。

(2) 機器・読書補助具類

・拡大読書器 (1台)

・プレクストーク (1台)

・リーディングトラッカー

・ルーペ、老眼鏡



拡大読書器



りんごの棚

(3) 書架等

・りんごの棚設置

・LLブック、点字本、大活字本



9 令和5年度主要事業実施状況

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(1) 資料・情報 (ア) 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」を戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担を行ういつ、蔵書構築のあり方を見直す。 (イ) 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身に付けることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。 (ウ) 情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。	実施状況及び成果、今後の課題等 (ア) 令和4年8月から開始した、県立長野図書館単独の電子書籍閲覧サービス「市町村と県による協働電子図書館」（デジとしよ信州）について、資料を更し新し引き続きサービスを提供した。 地域資料収集の取り組みとして、古書の流通情報を調査し、所蔵のない地域資料（郷土資料）や複本の確保に努めた。 (イ) 令和5年度の調査相談件数は以下のとおり。引き続き調べ方を伝える丁寧な調査・相談に努めたい。 【実績】 令和5年度 6,696件（R6.3月末） 令和4年度 5,394件 (ウ) 令和5年度の相互貸借の状況は、以下のとおり。利用者が求める情報を得ることができるよう、相互貸借だけにこだわらず柔軟に対応できるよう努めたい。 【実績】 令和5年度 貸出冊数3,619冊 借受冊数395冊（R6.3月末） 令和4年度 貸出冊数3,579冊 借受冊数375冊

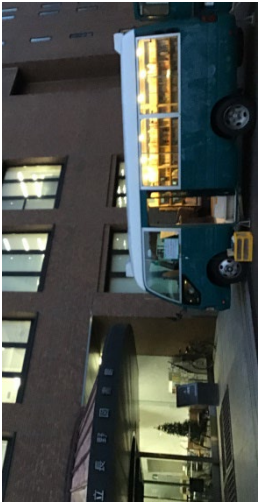


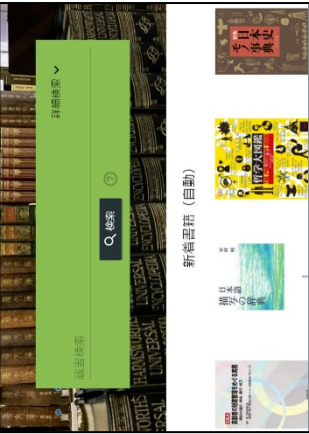
【蔵書整理休館期間中に行った書庫内の配置見直し】

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進 (ア) 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニティづくりを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。 (イ) 試行錯誤ができる「学びのツール」として、「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな学びの仕組みを拡げていく。 (ウ) 実空間と情報空間を融合させ、ICT を活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。 【#13 ラボ・デザイン会議】 【ラボカフェ】 【#19 まるキャン交流】【#20 モノコトベースの機器の将来を考える会】【#22 旅する本箱旅支度の会】 (ア) (イ) (ウ) 「信州・学び創造ラボ」の活用やコミュニティ促進を目的としたワークショップとして、以下のイベントを実施した。参加しやすさに配慮し、リアル×オンラインのハイブリッド開催を標準化した。 実施したイベント (R6.3月末まで) 《ラボ・デザイン会議》 #13 テーマ：生成AIと図書館であそんでみる？ 《ラボカフェ》 #18 幸せを考える本棚づくりの会vol.2 #19 まるキャン交流会 #20 モノコトベースの機器の将来を考える会 #21 旅する本箱のテーマを考える会 #22 旅する本箱 旅支度の会 《モノコトベース》 オープンデー (12回) オリジナルライブラリーカードワークショップ (36回) 《こどものモール》 長野市による、チケット制の子どもの体験プログラム。 3階「信州・学び創造ラボ」を会場として、多くの子ども＆保護者が来館し、体験プログラムを楽しんだ。公共の場（図書館）での開催にあたっては、チケットを持たない人も参加できるよう工夫した。 参加人数は約200人（子ども80人）（チケット：57人、現金：23人）	実施状況及び成果、今後の課題等

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(工) 図書館を「新しい出会いと発見が促される場」と捉え、1 階児童図書室、2 階一般図書室における「新しい発見・学び」のプログラムを展開する。 【2 階・一般図書室展示】 【1 階・児童図書室展示】 【学齢期の体験・発見のための の模型・カードゲーム】	(工) 社会科の授業の一環としての小学生の見学で、社会における図書館の役割や提供する資料の変化について、学びの流れを聞き取りそれに沿った案内を学齢に応じて行った。 【小学生による図書館見学】 ・児童図書室には、体験型の学びができるマイクロスコープ、観察材料を常設し、子どもたちが館内を巡って謎を解くスタイルの分散型プログラムを実施した。室内展示は、入口からの動線を意識しながら多様な問いかけ型の棚を構成し、利用者の探究心を引き出すための仕掛けを施している。 ・令和 5 年度は対象年齢を拡大し、学齢期の子どもたちの教科に踏み込んだ模型も備え、動画の視聴のみでリアルには見られなかった実験模型等を実際に触れられるようにした。社会科見学の際、児童生徒のみならず引率の教職員に対しても児童室の機能を示すことができた。 ・感染症に対する社会の対応を注視しながら、変化する状況に対応する体験の再開、新たなプログラムの検討を始めた。各図書室と信州・学び創造ラボをつないだ展示・プログラムを展開する等、館全体に知の入口が広がる縦断的なタッチポイントの設計に取り組んだ。

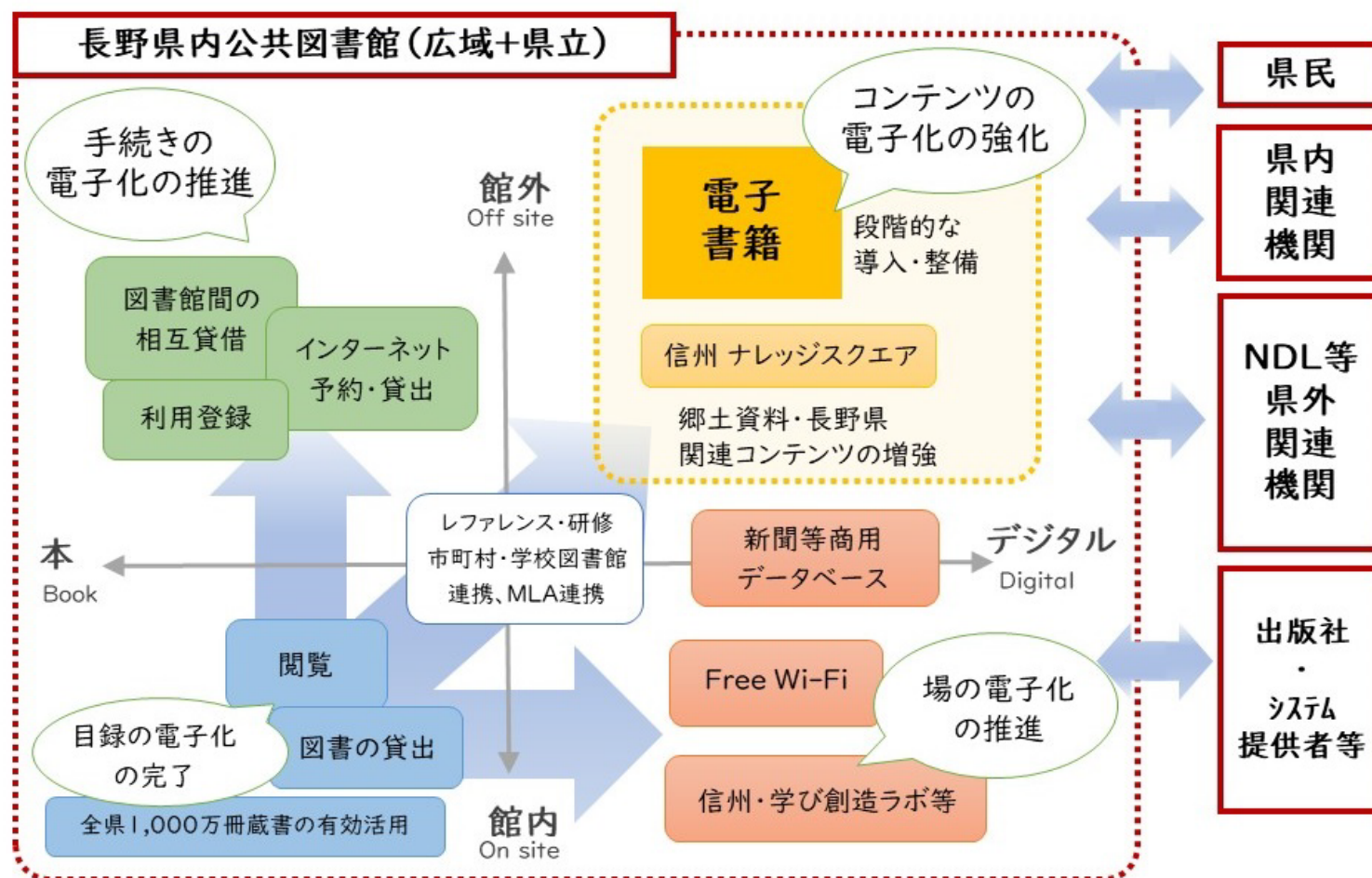
主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援 (ア) 地域の情報センターとしての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。   【レファレンス実習】  【林業士入門講座】  【ステップアップ研修】  	(ア) 図書館職員の中堅研修に位置づける「これからの公共図書館研究会」について、引き続き 4 部門を設け、県内公共図書館関係者 66 名が会員登録し、計 10 回のオンライン研究会を開催した。 現場での課題を持ち寄り、研究・検討し、情報交換を行うフラットな場として定着している。オンライン開催方式により、フレキシブルで地域・立場を問わない積極的な参加が実現している。 ・サービス計画 13 名 1 回 (R6.3 月現在) ・学びのプログラム・学校連携 15 名 5 回 (R6.3 月現在) ・デジタル活用 0 回 (R6.3 月現在) ・資料活用・レファレンス 22 名 4 回 (R6.3 月現在) ・初任者研修 (レファレンス実習) は、会場館として初めて手をあげていただいた図書館を中心に県内 4 地区で開催した。(伊那市、大町市、東御市、県立長野) ・林業総合センターが実施する「林業士入門講座」との連携により、共知共創の場を認識し、地域の中で継続的に活用していくためのリテラシープログラムは様々な様相を模索する中で、社会人の個別の学びに直結し、人と人が結びつく方向性を確認した。(平成 29 年～) ・長野県図書館協会が実施する第 7 回ステップアップ研修「地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために」において、講師を務めた。地域資料や学校資料を参加者が持ち寄り、上向きスキルでデジタル化し「信州デジタルコモンズ」に登録する体験をした。また、著作権処理などの悩みについて解決にむけた一歩となるよう、話し合う場を設けた。 学校 2 校を含む、9 機関から 13 名が参加。

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(イ) 県民の学びを創発する機会として「図書館フォーラム」等を開催する。   【児童・青少年と共にある本・情報・人の広場―図書館から世界の窓を開こう―】  【ウィキペディアタウン in 大町市】  (ウ) 長野県における知と学びに関わる各種機関が、信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていくことを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。 (エ) 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押しする。	(イ) 「これからの公共図書館フォーラム」の新たな展開として、県内外、図書館界内外に開かれたテーマを計画、実施。会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式で開催した。 開催実績 第1回 『信州の「はたらく」を考える』Vol.3 第2回 『児童・青少年と共にある本・情報・人の広場―図書館から世界の窓を開こう―』 ※R5年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）と合同開催 (ウ) 「信州・知の連携フォーラム」第7回を実施（当番：信州大学附属図書館）（テーマ：「記憶<データ>を未来へ～信州からはじまる文理融合のデジタルアーカイブ～」）。イベント後の関係者会議で今後の方向性として、協働体制の継続を確認するとともに、「ミッションステートメント」を発出した。 (エ) 北信、中信、佐久地区の公共図書館連絡会および研修会に出席し、オブザーバー、講師等を務めた。松本市の公共図書館・学校司書合同研修会では講師として、学校連携に関する情報提供を行った。長野県学校図書館協議会北信地区司書学習会で電子図書館の現状と学校図書館活動への展開について情報提供を行った。 ・白馬村図書館協議会、及び図書館等複合施設検討委員会にアドバイザーとして、佐久市立図書館建替整備検討委員会に委員として参加した。 ・北アルプス地域振興局による「ウィキペディアタウン in 大町市」を共催し、企画・運営への協力、講師派遣を行った。

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(4)「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進 (ア) 図書館機能の高度化の方策として、目録のデジタル化、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化、コンテンツの電子化を強化し、これらを使いこなす学びのネットワーク化を推進する。 (イ) 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、レファレンスで多用する資料を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充するとともに、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。  【信州ナレッジスクエア / eReading Books】 (ウ) 災害時でも学びが継続できる手段を確保し、図書館利用の地域的・身体的なバリアフリー化を実現するために、ICT による付加価値のある学びのコンテンツとして、「電子書籍サービス」を導入する。   【市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」】 【県立長野図書館電子書籍サービス】	(ア) 令和3年度に外部委託によりデジタル化を実施した当館資料108点について著作権調査を実施。保護期間の満了が確認できた96点を公開した。令和5年度はデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、大正期から昭和戦前期までの郷土資料300点のデジタル化を行った。同様に著作権保護期間の調査を行っている。今後のデジタル化についても、優先順位をつけて取り組んでいく。 ・商用データベースの提供について、利用状況に合わせて見直しを行った。引き続き、利用促進が課題である。 (イ) 「信州デジタル commons」に、PDF資料として、図書館問題研究会長野県支部の学習会の記録『齊藤俊江さんに聞く「我が青春の図書館」』を登録した。PDF資料が掲載できるようになり、市町村の行政文書等の掲載など活用の可能性が広がった。引き続き参加団体の増加に努める。現在2機関から登録の申請を受け、業者による設定が完了した。 (ウ) 市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」を昨年度から継続して提供した。 ・「デジとしよ信州」運営状況 (R6.3月末時点) 【利用登録者数】17,991名 (全ての市町村に利用登録者がいる) 【蔵書数】計27,967冊(R6.3月末時点) うち、購入(有償)コンテンツ計16,683冊(R6.3月末時点) ※宝くじ助成1800万円を活用 【貸出数】125,365冊 (一日平均約375冊の貸出がある) 最多貸出年代：40代(19%)、次いで50代(18%)、10代(17%) ※全国知事会「先進政策バンク」先進政策大賞 (一社) ブラチナ構想ネットワーク 第11回ブラチナ大賞「優秀賞」

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
	・「県立長野図書館電子書籍サービス」運営状況 (令和5年度 3月末時点実績) 【蔵書数】1,279冊 【閲覧数】2,801回 (1冊あたり閲覧平均 2.2回)

「長野県 eLibrary 計画」概念図



Ⅲ 統計資料(令和5年度実績)

1 利用状況

(1) 入館者数及び開館日数

(単位：人)

項 目		令和5年度 (283日)							令和4年度 (283日)
		平日 (175日)		土日 (97日)		祝日 (11日)			
		利用者数	1 日平均	利用者数	1 日平均	利用者数	1 日平均		
入館者数		380,226	223,644	1,278	141,464	1,458	15,118	1,374	287,332
参 考	会議・施設見学等※	5,613	4,068	23	1,442	15	103	9	5,674
	一般図書室	108,694	64,640	369	40,178	414	3,876	352	81,702
	児童図書室	61,903	30,646	175	28,780	297	2,477	225	68,187
	信州・学び創造ラボ	94,956	52,795	302	38,215	394	3,946	359	67,631
	会議室	41,796	19,967	114	19,761	204	2,068	188	35,056

注：（ ）内は開館日数。平成23年度から祝日開館実施。（土日の祝日も含む。）

※会議・施設見学等について、オンライン開催含む。

(2) 登録者の状況

(単位：人)

項 目		新規登録者		登録者累計（令和5年度末）			
		令和5年度	令和4年度		男	女	計
総 数		3,055	3,775	総 数	43,194	60,260	103,454
内 訳	一 般	2,384	3,129	一 般	40,738	57,533	98,271
	児 童	671	646	児 童	2,456	2,727	5,183

インターネットサービス登録者

(単位：人)

項 目		登録者		登録者累計（令和5年度末）		
		令和5年度	令和4年度	一般	児童	総数
総 数		375	495	3,983	176	4,159

※児童は15歳以下、一般は16歳以上

(3) インターネット予約貸出の状況

(単位：件、冊)

項 目		令和5年度		令和4年度	
		件 数	冊 数	件 数	冊 数
当 館 受 取		1,136	2,540	1,196	2,955
指 定 館 受 取		677	1,976	571	1,624
計		1,813	4,516	1,767	4,579

(4) 資料の貸出状況

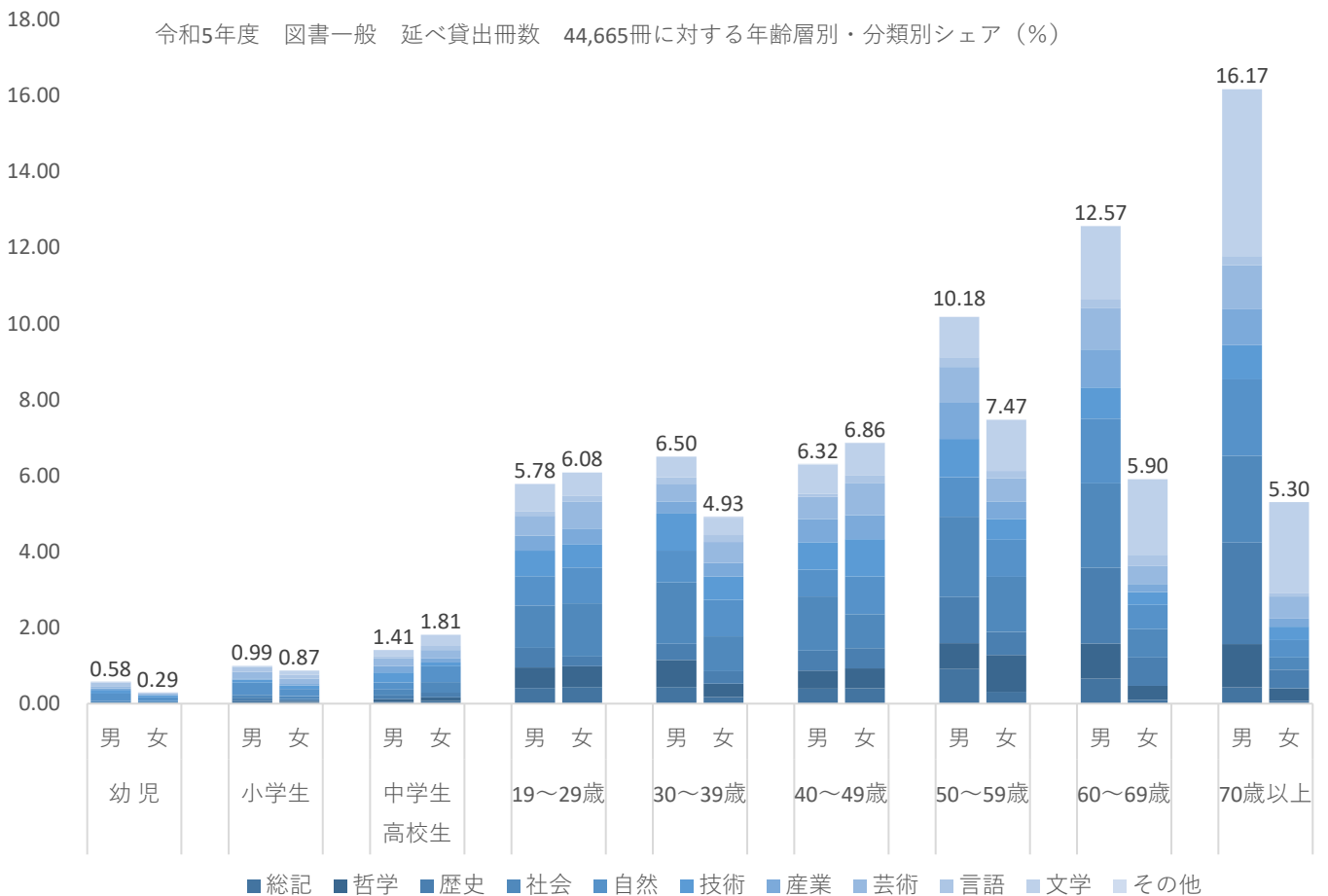
(単位：冊)

項 目	令和5年度			令和4年度		
	一般図書	児童図書	合計	一般図書	児童図書	合計
総 数	44,665	52,401	97,066	41,651	57,610	99,261
0 総記	2,222	360	2,582	2,107	357	2,464
1 哲学	3,480	652	4,132	3,066	612	3,678
2 歴史	4,766	1,485	6,251	4,798	1,297	6,095
3 社会科学	7,660	1,525	9,185	6,856	1,454	8,310
4 自然科学	6,011	4,135	10,146	6,165	4,048	10,213
5 技術	4,122	1,667	5,789	3,675	1,689	5,364
6 産業	3,082	588	3,670	3,188	600	3,788
7 芸術	4,189	2,278	6,467	3,659	2,303	5,962
8 言語	1,193	633	1,826	870	697	1,567
9 文学	7,895	7,244	15,139	7,193	8,498	15,691
E (絵本)	0	31,781	31,781	0	36,044	36,044
その他	45	53	98	74	11	85

令和5年度 図書一般 延べ貸出冊数 44,665冊に対する年齢層別・分類別シェア

(単位：冊)

年齢	性別	分類											計
		総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	
幼児	男性	1	6	4	21	86	42	20	24	45	2	8	259
	女性	7	3	3	15	46	25	5	15	6	5	0	130
小学生	男性	33	6	30	33	143	36	17	77	59	10	0	444
	女性	17	17	18	36	86	40	15	62	44	52	0	387
中学生 高校生	男性	24	26	46	70	84	116	78	86	22	77	0	629
	女性	28	46	55	124	185	46	46	99	50	130	0	809
19～29歳	男性	184	240	231	498	344	301	177	234	55	318	1	2,583
	女性	195	246	112	625	423	272	184	319	68	273	0	2,717
30～39歳	男性	194	319	192	719	375	435	143	208	75	241	0	2,901
	女性	76	157	148	409	429	275	161	245	80	207	13	2,200
40～49歳	男性	176	211	236	637	315	324	268	266	30	347	11	2,821
	女性	178	235	238	398	443	442	282	371	91	384	1	3,063
50～59歳	男性	405	307	541	942	468	447	427	419	116	472	2	4,546
	女性	141	429	274	645	438	245	200	279	83	601	1	3,336
60～69歳	男性	292	414	891	991	761	366	448	490	96	862	3	5,614
	女性	46	163	335	331	285	149	89	223	129	886	1	2,637
70歳以上	男性	192	509	1,191	1,022	896	403	430	512	106	1,956	4	7,221
	女性	33	146	221	144	204	158	92	260	38	1,072	0	2,368
計	男性	1,501	2,038	3,362	4,933	3,472	2,470	2,008	2,316	604	4,285	29	27,018
	女性	721	1,442	1,404	2,727	2,539	1,652	1,074	1,873	589	3,610	16	17,647
	男女計	2,222	3,480	4,766	7,660	6,011	4,122	3,082	4,189	1,193	7,895	45	44,665

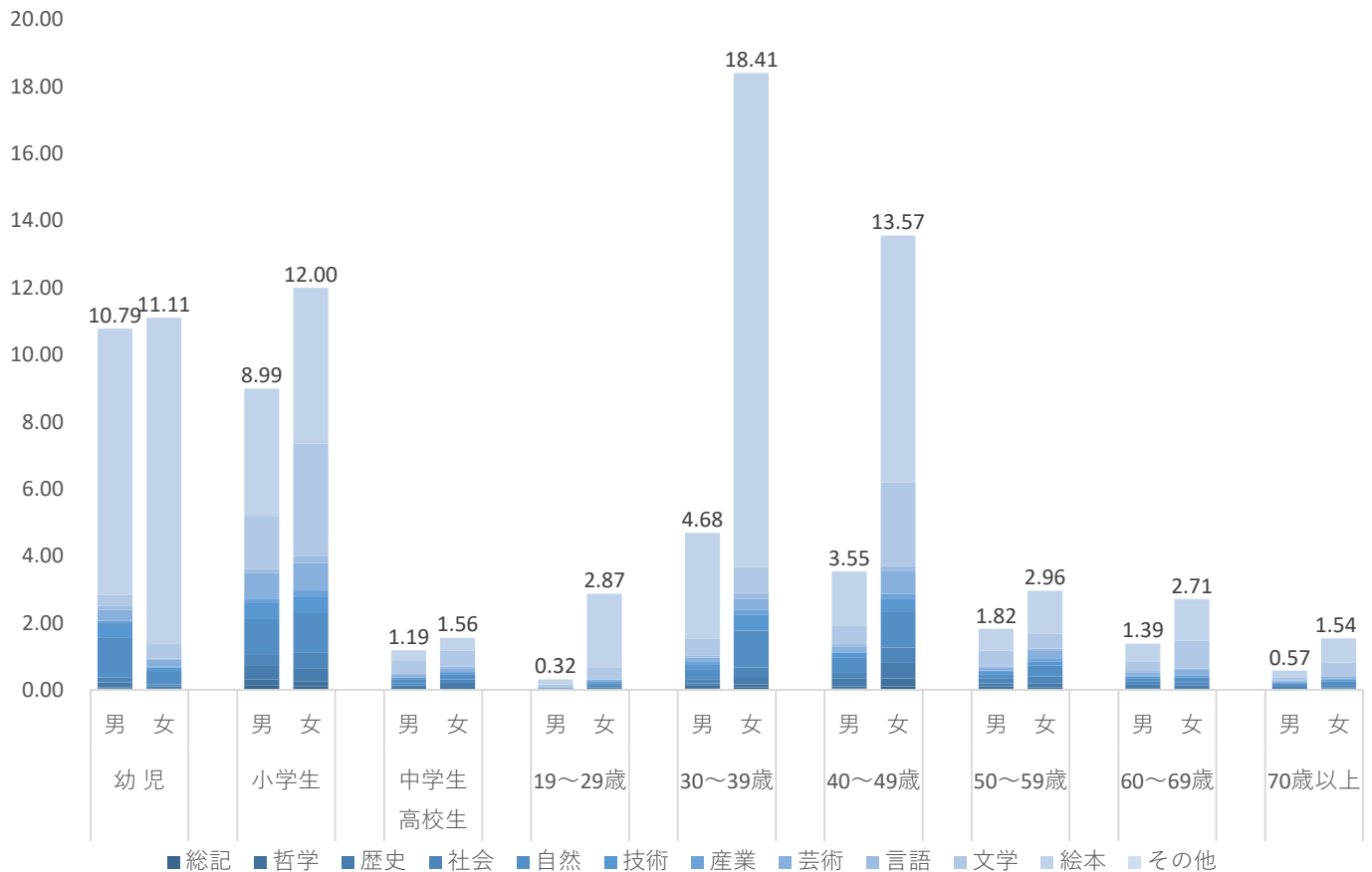


令和5年度 図書児童 延べ貸出冊数 52,401冊に対する年齢別・分類別シェア

(単位：冊)

年齢	性別	分類												計
		総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	その他	
幼児	男性	24	12	79	81	629	218	41	168	59	176	4,161	4	5,652
	女性	5	23	29	31	195	66	21	106	13	229	5,101	0	5,819
小学生	男性	64	100	225	171	547	247	73	399	63	834	1,989	0	4,712
	女性	50	83	209	237	622	245	108	429	104	1,762	2,438	0	6,287
中学生 高校生	男性	7	23	41	36	50	36	5	49	14	190	165	5	621
	女性	14	18	77	53	73	31	16	56	30	249	198	0	815
19～29歳	男性	0	4	6	10	9	2	3	4	5	42	80	0	165
	女性	4	11	29	31	30	19	2	33	3	181	1,159	3	1,505
30～39歳	男性	29	35	37	67	159	77	32	70	33	262	1,652	0	2,453
	女性	37	51	115	148	573	251	76	174	94	397	7,727	2	9,645
40～49歳	男性	24	32	125	85	233	77	11	92	34	297	837	11	1,858
	女性	56	123	246	239	565	192	83	349	85	1,307	3,856	8	7,109
50～59歳	男性	9	47	42	87	62	35	17	44	24	248	339	0	954
	女性	13	31	61	104	172	66	50	111	40	235	663	4	1,550
60～69歳	男性	6	22	54	50	44	31	20	51	17	143	285	4	727
	女性	4	13	56	48	71	31	6	97	11	434	644	7	1,422
70歳以上	男性	6	11	32	14	42	14	9	22	3	34	112	0	299
	女性	8	13	22	33	59	29	15	24	1	224	375	5	808
計	男性	169	286	641	601	1,775	737	211	899	252	2,226	9,620	24	17,441
	女性	191	366	844	924	2,360	930	377	1,379	381	5,018	22,161	29	34,960
	男女計	360	652	1,485	1,525	4,135	1,667	588	2,278	633	7,244	31,781	53	52,401

令和5年度 図書児童 延べ貸出冊数 52,401冊に対する年齢別・分類別シェア（％）



(5) 書庫資料の利用状況

(単位：冊)

項 目	令和5年度				令和4年度			
	一般資料	郷土資料	児童資料	合計	一般資料	郷土資料	児童資料	合計
総 数	10,629	5,836	4,562	21,027	10,738	6,906	5,401	23,045
0 総記	318	100	27	445	224	65	10	299
1 哲学	606	44	48	698	566	47	37	650
2 歴史	1,335	1,170	165	2,670	1,172	1,680	126	2,978
3 社会科学	1,212	465	77	1,754	1,090	434	71	1,595
4 自然科学	426	68	177	671	470	93	173	736
5 技術	406	123	94	623	420	139	99	658
6 産業	262	110	21	393	330	117	44	491
7 芸術	599	106	212	917	621	118	220	959
8 言語	108	15	30	153	112	0	33	145
9 文学	2,619	90	1,054	3,763	2,386	142	1,660	4,188
E (絵本)	0	0	2,646	2,646	0	0	2,863	2,863
新聞・雑誌他	2,738	3,545	11	6,294	3,347	4,071	65	7,483

(6) データベースの利用および複写の状況

(単位：人、枚、回)

項 目	令和5年度				令和4年度			
	利用者数	複写枚数	ログイン回数	検索回数	利用者数	複写枚数	ログイン回数	検索回数
電子複写機	2,375	34,468			2,012	31,616		
マイクロフィルム	4	66			12	53		
官報情報検索	15	23	－	－	11	19	－	－
法情報総合データベース	7	26	73	67	11	12	220	371
信濃毎日新聞データベース※1	350	2,139	2,193	22,141	358	2,241	1,969	23,098
朝日クロスサーチ (旧・聞蔵Ⅱ) ※2	64	409	329	－	77	249	339	－
日経テレコン21	38	219	－	－	44	161	－	－
毎索	24	60	138	269	34	59	146	348
ヨミダス歴史館	32	189	61	962	40	247	72	1,186
中日新聞・東京新聞記事データベース	58	15	74	1,139	36	31	47	816
市場情報評価ナビ※3	1	0	12	－	2	0	28	－
J-DreamⅢ	26	480	65	321	26	723	74	490
ジャパンナレッジ	8	23	237	1,693	5	9	169	1,234
ルール電子図書館	3	81	53	187	4	119	58	195
国立国会図書館デジタルコレクション	90	1,916			135	3,870		
信州デジタルcommons	0	0			0	0		
写真撮影	40	－			58	－		
郵送複写	96	1,537			115	4,434		
他館所蔵資料複写取次※4	16	110件			22	－		

※1 令和3年4月から信濃毎日新聞のログイン数と検索回数を記載。※ログイン回数と検索回数は、当館利用者と職員による回数を含む。

※2 ログイン回数はアクセス数超過を含む。

※利用者数には複写をしていない利用者を含む。

※3 令和5年度末で契約終了。

※4 他館へ依頼しているため、申込枚数ではなく申込件数。

(7) 相互貸借の利用状況

ア 相互貸借の状況

(単位：冊)

区 分		令和5年度			令和4年度		
		貸出冊数	借受冊数	合計	貸出冊数	借受冊数	合計
合 計		3,468	392	3,860	3,686	375	4,061
県 内	公共図書館	1,689	270	1,959	1,799	202	2,001
	公民館図書室	315	10	325	276	0	276
	学校図書館	1,323	23	1,346	1,408	45	1,453
	計	3,327	303	3,630	3,483	247	3,730
県 外	公共図書館	139	76	215	198	123	321
	学校図書館	2	13	15	5	5	10
	計	141	89	230	203	128	331

※相互貸借の対象機関は公共図書館・大学図書館・県内所在の高校図書館・公共図書館未設置自治体における公民館図書室および学校図書館。

イ 送料の支援状況

(単位：件)

区 分		令和5年度			令和4年度		
		貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県 内	計	1,206	987	2,193	1,182	944	2,126
	公共図書館	777	658	1,435	771	620	1,391
	公民館図書室	147	95	242	130	82	212
	学校図書館	282	234	516	281	242	523

※公共図書館、図書館未設置町村の公民館図書室及び小・中学校、公立・私立高等学校等、大学は往復送料を当館が負担。

その他の学校図書館は、貸出分の送料を負担している。

※県外の相互貸借の送料については、依頼した施設が送料負担となる。

(8) 団体貸出の利用状況

ア 団体貸出の状況

区分	令和5年度	令和4年度
件数	23	26
貸出冊数	151	73

イ 送料の支援状況

区 分		令和5年度			令和4年度		
		貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県内の対象機関		11	3	14	9	0	9

※団体貸出の対象機関は議会図書館・県内博物館及び美術館・病院図書室・長野県の組織及び機関・その他館長が認めた団体。

(9) マイクロフィルムの利用状況

項 目	令和5年度	令和4年度
利用件数	4	12
利用本数	13	94

(単位：件、本)

(10) インターネット端末の利用状況（設置台数 PC:2台 タブレット:4台）

項 目	令和5年度	令和4年度
利用者数	PC 1,308	1,151
	タブレット 1,622	1,464

(単位：人)

(11) 複製物・デジタルコンテンツ使用の許可状況

図書館資料を複製した場合の2次利用については、令和2年度から当館への申請は不要としている。
「信州デジタルコモンズ」に掲載している当館所蔵資料については、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス0（CC0）で提供しており、申請を不要としている。

(12) ホームページのアクセス状況

県立長野図書館のホームページ（<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>）へのアクセス状況

(単位：件、%)

項 目	令和5年度	令和4年度	対前年度比 (%)
トップページ	190,713	194,527	98
県立長野図書館のいま	11,979	13,429	89.2
本・情報をさがす	35,458	36,830	96.3
レファレンスサービス	1,361	1,322	103
県立長野図書館をつかう	18,125	19,548	92.7
利用案内	16,737	17,484	95.7
つながる信州の図書館	8,933	12,338	72.4
信州ナレッジスクエア トップページ	72,601	69,486	104.5
Shinshu Book Search (長野県内図書館横断検索)	138,304	139,536	99.1
信州デジタルコモンズ	89,225		—

※2020年3月、図書館システム更新およびホームページ変更。

2 図書館資料の状況

(1) 図書資料購入及び蔵書の状況

(単位：冊)

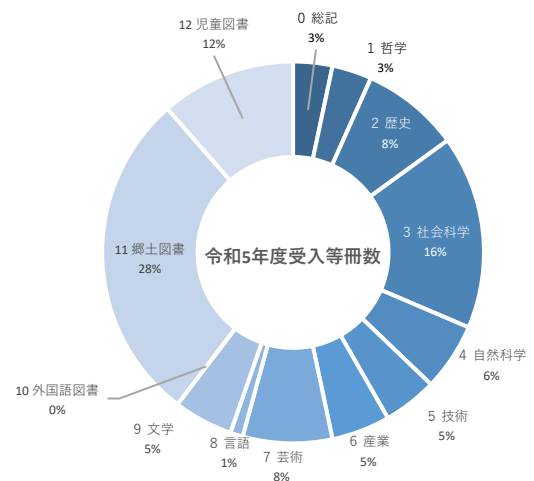
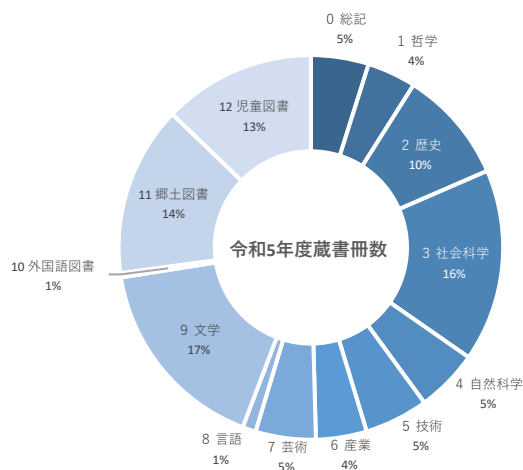
	令和5年度					令和4年度
	蔵書冊数	開架冊数	増加数	受入数	除籍	蔵書冊数
0 総記	37,598	7,620	435	441	6	37,163
1 哲学	31,755	7,580	431	446	15	31,324
2 歴史	73,520	8,797	1,079	1,104	25	72,441
3 社会科学	125,198	13,573	2,146	2,176	30	123,052
4 自然科学	40,743	10,380	733	759	26	40,010
5 技術	41,439	7,787	565	607	42	40,874
6 産業	33,008	5,736	641	658	17	32,367
7 芸術	39,139	7,854	984	1,004	20	38,155
8 言語	8,665	2,647	133	142	9	8,532
9 文学	129,337	10,672	636	667	31	128,701
10 外国語図書	2,865	0	-3	0	3	2,868
11 郷土図書	110,688	14,111	3,717	3,740	23	106,971
12 児童図書	99,000	25,890	1,470	1,517	47	97,530
計	772,955	122,647	12,967	13,261	294	759,988

※10外国語資料は、一般図書と児童図書に分類される資料の合計値。

<令和5年度図書資料の内訳>

(単位：冊)

	一般図書			郷土図書			児童図書		
	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍
0 総記	351	90	6	51	137	0	20	1	1
1 哲学	388	58	15	37	44	1	12	0	1
2 歴史	873	231	25	279	640	12	80	11	0
3 社会科学	1,764	412	30	183	748	3	131	24	0
4 自然科学	691	68	26	33	100	0	157	7	5
5 技術	447	160	42	55	174	0	84	11	2
6 産業	522	136	17	114	166	4	57	4	0
7 芸術	684	320	20	189	308	1	439	52	27
8 言語	127	15	9	6	4	0	21	0	0
9 文学	474	193	31	231	241	2	391	15	11
外国語図書	0	0	3	0	0	0	0	0	0
計	6,321	1,683	224	1,178	2,562	23	1,392	125	47



(2) 新聞・雑誌の所蔵状況

令和5年度受入数

(令和6年3月31日現在) (単位:冊)

項 目	一 般		郷 土		児 童	外国語	計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	購入	購入	寄贈	
新 聞	12	30	20	25	1	1	33	55	88
雑 誌	131	206	23	343	13	4	171	549	720
追 録	4	0	3	0	0	0	7	0	7

(3) 貴重資料コレクション

近世（江戸時代）の信濃に関する典籍等（主に俳書）が収められています。

名 称	点数	説 明
関口文庫	192	関口彦一郎（1879～1958）収集の信濃関係俳諧書資料で、小林一茶・茂呂何丸・加舎白雄・宮本天姥・倉田葛三・井上井月ら信濃の代表的俳人及び善光寺俳壇の俳書を収める。
威徳院文庫	76	林亮順（1868～1941）が収集した信濃関係俳書を収める。宮本天姥・倉田葛三・今井柳莊をはじめ、主として長野県北信地方の俳人の俳書が集められている。

(4) マイクロフィルム等の所蔵状況

新聞・郷土資料などをマイクロフィルム化することにより、原資料の劣化を防ぎ、閲覧や複写サービスの向上に努めています。

（＊マイクロフィッシュは、シート状のフィルムに關係資料が撮影されたものです。）

(令和76年3月31日現在)

		資 料 名	所 蔵 内 容	フィルム数
マ イ ク ロ フ ィ ル ム	新 聞	信濃毎日新聞	明治6年7月 ～ 平成25年12月	1,535
		〃 （欠号集）	明治8年5月 ～ 昭和27年12月	15
		朝日新聞	明治21年7月 ～ 平成25年12月	2,128
		〃 （長野県版）	昭和28年1月 ～ 平成25年12月	106
		毎日新聞	明治5年2月 ～ 平成25年12月	2,159
		〃 （長野県版）	昭和2年1月 ～ 平成25年12月	135
		読売新聞	明治7年1月 ～ 平成25年12月	1,830
		〃 （長野県版）	昭和8年5月 ～ 平成25年12月	151
		〃 （欠号集）	明治7年12月 ～ 昭和20年12月	38
		長野新聞	明治32年4月 ～ 大正9年12月	45
		小 計		8,142
	郷 土	信濃教育	第1号（明治19年10月）～ 第780号（昭和26年12月）	33
		長野県統計書	明治6年 ～ 昭和12年	22
		府県資料長野県		3
		東大明治新聞雑誌文庫所蔵 長野県関係（明治大正）マイクロ版		31
		石坂家文庫		14
		内閣文庫所蔵筆記		1
		国文学資料館蔵関口文庫		8
		国文学資料館蔵威徳院文庫		2
		丸山文庫		59
		飯島文庫		19
		農商務省小作慣行調査報告	<中部編1> 長野県	14
		日本林制史調査資料	中部 松代藩 1 ～ 5	5
		花月文庫		287
		明治年間府県統計書集成	明治8年 ～ 明治45年	10
		大正・昭和年間府県統計書集成	大正2年 ～ 昭和13年	12
		小 計		520
	そ の 他	太政官日記	慶応4年 ～ 明治 9年	11
		官報	明治16年 7月 ～ 平成25年12月	1,600
		信濃教育会図書館時代 特殊収集近世資料	国文学資料館所蔵分	10
		小 計		1,621
	合 計			10,283
フィッシュ	郷 土	プランゲ文庫雑誌コレクション 長野県関係	昭和20年 ～ 昭和24年 275タイトル	1,011

(5) 16ミリ映画フィルムの所蔵及び貸出状況

<所蔵及び貸出状況>

(単位:本)

項 目	所蔵状況		貸出状況	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
16ミリ映画フィルム	2,260	2,260	0	5
ビデオテープ	3,035	3,036	0	0
DVD	179	179	0	3
合計	5,474	5,475	0	8

※団体を対象に貸出（個人貸出不可）

IV 県立長野図書館協議会

1 概 要

県立長野図書館協議会は、図書館法第 14 条及び県立長野図書館条例第 3 条の規定により設置され、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる。

2 令和 5 年度開催状況

○令和 5 年 9 月 27 日（水）

会議事項 利用実績について

県立図書館所蔵資料デジタル化事業の進捗状況について

子どもの居場所としての図書館の在り方について

○令和 6 年 3 月 13 日（水）

会議事項 令和 5 年度主な利用実績について

令和 5 年度主要事業について

令和 6 年度当初予算について

デジとしよ信州について

信州・学び創造ラボの機器更新について

県立長野図書館業務システムの更新について

令和 6 年度長野県 eLibrary 計画（今後の情報システム基盤のあり方）について

3 委員名簿（令和 6 年 3 月 31 日現在）

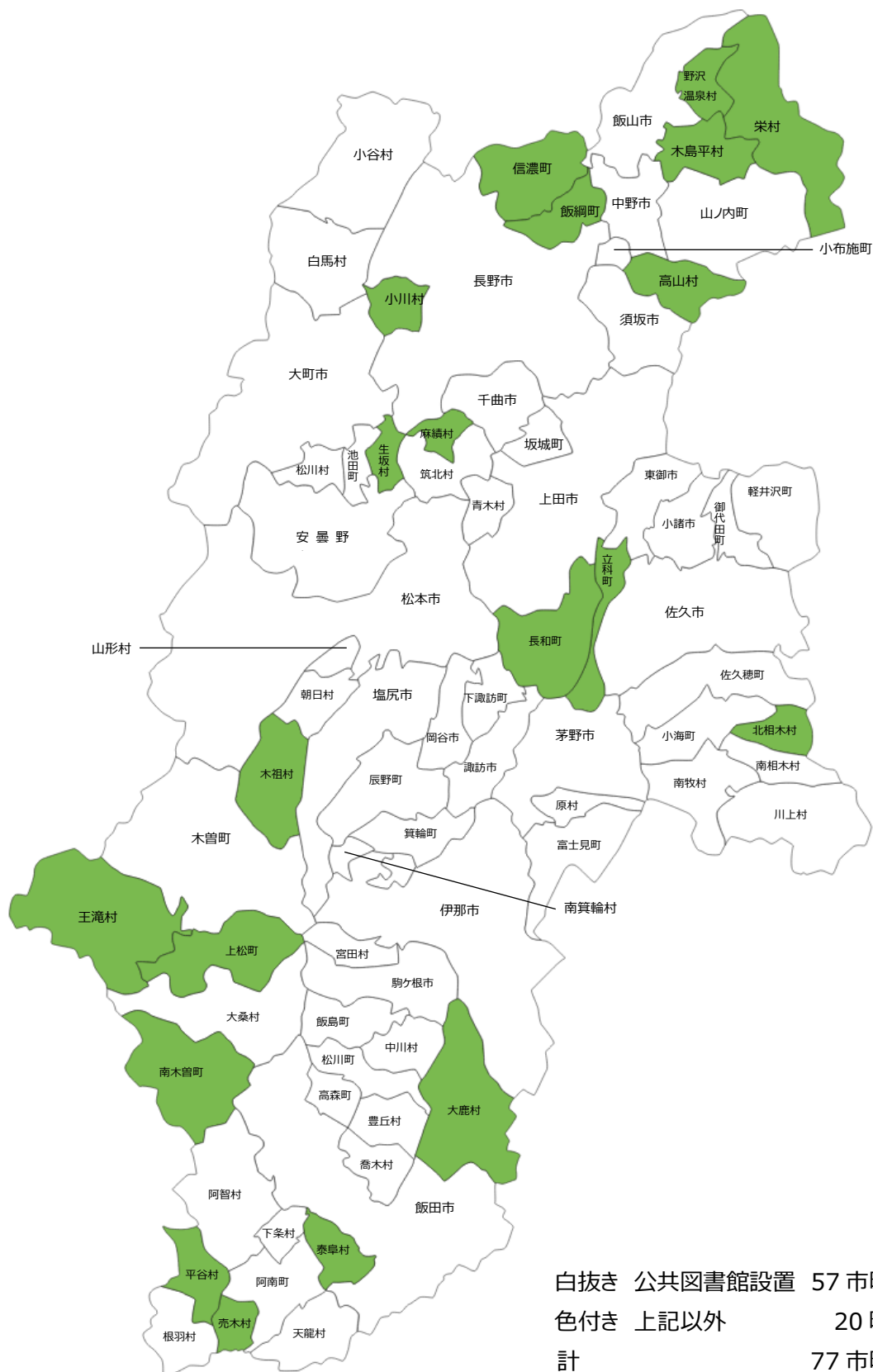
（敬称略、五十音順）

職	氏 名	所 属 ・ 職 名 等
会長	渡 邊 匡 一	信州大学人文学部 教授
委員	内 山 由香里	長野県伊那北高等学校 教諭
	大 林 晃 美	NPO法人本途人舎 代表理事
	春 日 由紀夫	駒ヶ根市立東伊那公民館 館長
	田 川 圭 子	ライター、ナレーター
	田 中 一 樹	NPO法人 職員
	西 山 卓 郎	株式会社バリューブックス 社員
	平 賀 研 也	日本大学芸術学部 非常勤講師
	松 山 佳奈子	ゆめサポママ@ながの メンバー
	棟 田 聖 子	松川村図書館 館長

（任期 令和 5 年 1 月 1 日から令和 6 年 12 月 31 日まで）

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況



2 県立長野図書館の沿革

和暦	西暦	月	
明治40	1907	6	信濃教育会により信濃図書館が設置される
大正13	1924	12	信濃教育会による明治44年以来の県立図書館設置運動が実り、臨時県議会において昭和天皇御成婚記念事業として県立図書館設置が可決
昭和 4	1929	9	長野市長門町に県立長野図書館開館（工費24万円、3階建、延べ床面積2,397.78㎡） 信濃図書館の蔵書のほとんどが寄贈される 開館当初から個人貸出を行う
昭和 7	1932		「団体携出」の名称で、官公署・学校等へ団体貸出を開始（昭和26年発展的解消）
昭和 8	1933	10	改正図書館令により、長野県の中央図書館に指定される
昭和 9	1934	6	「県立長野図書館報」創刊（昭和19年に数回の改題を経て終刊）
昭和11	1936		県下青年を対象とした貸出文庫を設け、県内へ発送を始める
昭和14	1939	12	『県立長野図書館10年史』刊行
昭和18	1943	11	帝国図書館の蔵書疎開が行われ、約133,400冊もの貴重な資料が翌年まで当館に保管される （昭和21年3月返戻）
昭和20	1945	3	書庫・事務室・館長室以外を長野高等女学校の学校工場（陸軍被服廠縫製工場）に使用するため、館内閲覧中止（翌昭和21年4月再開）
昭和24	1949	11	「第1回長野県図書館普及運動」を開催
昭和25	1950	12	「県立長野図書館条例」公布施行 「PTA母親文庫」を創設
昭和26	1951	3	図書館協議会が発足 「第1回長野県図書館大会」開催（上田市）
昭和34	1959	9	「本を読む母親の全国大会」開催（長野市）
		11	創立30周年、『県立長野図書館三十年史』刊行
昭和36	1961	10	2課制から4課制になり、調査相談課が設置される
昭和37	1962	3	新書庫が建設され、収容冊数が7万冊から約15万冊へ増加する
昭和39	1964	9	小冊子『調査相談の事例』刊行、配布
昭和42	1967	9	複写サービスを開始 マイクロフィルムを導入
昭和44	1969	10	「全国図書館大会」開催
昭和52	1977	10	『長野県郷土資料総合目録』を刊行
昭和54	1979	8	創立50周年、長野市若里へ新館を建設し移転 工費16億7千万円、地下1階地上3階建、延べ床面積8,614㎡ 旧館の魯桃桜9本も移植される
昭和56	1981	2	『県立長野図書館五十年史』刊行
平成 3	1991		館内改修工事を行い、郷土資料室を解体し閲覧室に資料を移動、空いた元郷土資料室は貸出室・親子読書室へ変更
平成 5	1993	3	電算システム導入（受入、貸出、検索、資料情報管理等）
平成 6	1994		古文書約15,000点を長野県立歴史館へ移管
平成12	2000		「第30回児童に対する図書館奉仕全国研究集会」開催
平成13	2001		コイン式コピー機を導入
平成14	2002	2	当館ホームページ開設、WebOPAC（インターネット上の蔵書検索）稼動
平成15	2003	2	「PTA母親文庫」を改めた「長野県PTA親子読書推進の会」発足（平成26年3月31日解散）
平成16	2004	2	外国籍住民のための外国語資料（ブラジル・中国・韓国・フィリピン・タイ）の受入・貸出を開始
		5	組織改正が行われ、4課制（総務課・整理課・調査閲覧課・貸出視聴覚課）から3課制（総務課・企画協力課・資料情報課）となる
		5	移動絵本図書館車「おはなしばけっと号」を導入（平成21年事業終了）
		7	貸出対象図書を27万冊から47万冊へ拡大し、児童図書室、一般図書室を設置

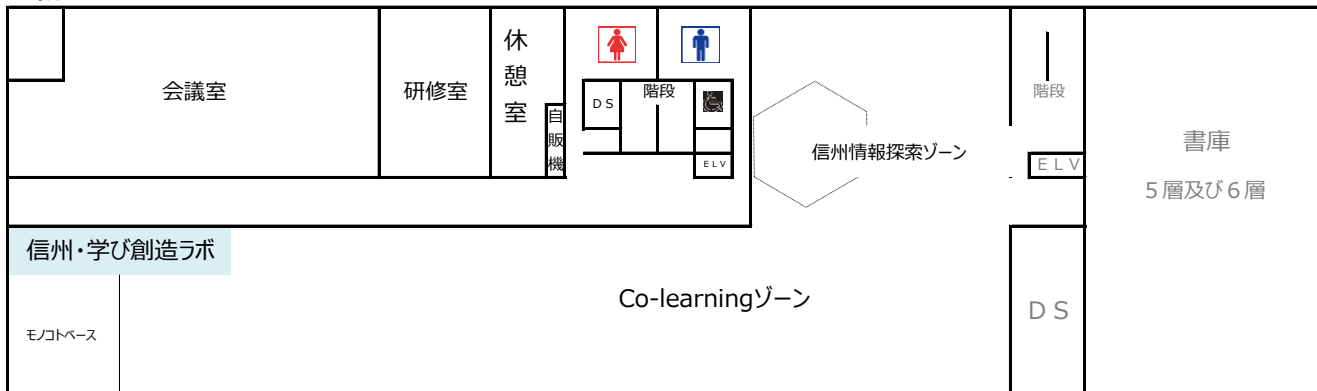
和暦	西暦	月	
平成17	2005	4	国立国会図書館「レファレンス協同データベース事業」へ本格参加
平成18	2006	2	『県立長野図書館メールマガジン』創刊（平成28年1月配信停止）
		6	「信濃毎日新聞アーカイブス」（現「信濃毎日新聞データベース」）導入
平成19	2007	12	「官報情報検索サービス」導入
平成21	2009	3	インターネット予約貸出サービス開始
			長野県内公共図書館横断検索システム導入
		9	耐震診断実施
平成22	2010	4	「コーラル文庫」開設（平成29年児童室改修に伴い分散配架）、「信州デジくら」(R2.4.1～デジタルコモンズへ移行) 運用開始
平成23	2011	4	祝日開館を試行実施
			「第一法規判例体系データベース」（現「法情報総合データベース」）導入
		12	館内の冷暖房設備を全面改修
平成24	2012	4	祝日開館を実施
		6	「関東地区公共図書館協議会総会及び研究発表大会」開催
平成26	2014	1	「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」導入
平成27	2015	2	耐震工事（7月まで）
		4	図書館改革のため、館長を任期付職員で登用
平成28	2016	6	新聞雑誌スペースを研修・ワークショップスペースに改修
			「聞蔵II(朝日クロスサーチ)」「日経テレコン21」導入
平成29	2017	6	「ルール電子図書館」、「magazineplus」(令和4年3月末契約終了)、「ジャパンナレッジ」、「毎索」、「J-DreamⅢ」、「ヨミダス歴史館」、「ポプリアネット」（令和4年3月末サービス終了）、
			「市場情報評価ナビMieNa」導入（令和6年3月末契約終了）
		8	外壁改修工事（12月まで）
		10	「ネーミング・ライツ・パートナー(株式会社内田洋行)」の導入及び「知識情報ラボUCDL(ウチデル)」のオープン（令和2年9月終了）
平成30	2018	3	床・階段改修、児童図書室改修（リニューアル）
		4	「中日新聞・東京新聞記事データベース」導入
平成31	2019	3	児童図書室に体験・発見コーナー設置（子どもの未来支援基金活用）、一般図書室書架・空間等の大規模リニューアル
		4	「信州・学び創造ラボ」の開設、児童図書室にて体験遊具(スライダー等)の貸出開始
令和元	〃	11	「Library of the Year 2019」優秀賞受賞
令和2	2020	4	信州・知のポータル「信州ナレッジ・スクエア」を開設
令和3	2021	4	3課制（総務課・企画協力課・資料情報課）から2課4係制（総務企画課・資料情報課）へ組織変更、副館長配置
			閉架書庫棟6階整備工事竣工
令和4	2022	8	県内77市町村と協働して電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を開始
			紀伊國屋書店の「KinoDen」を使用して「県立長野図書館電子書籍サービス」を開始
		8	「デジタルアーカイブジャパン・アワード」を「信州デジタルコモンズ」が受賞
令和5	2023	4	館長出演 FMぜんこうじ「図書ナビゲーション」（「ひるどき もんぶらワイド！」内）開始（毎月第2火曜日）
		11	全国知事会令和5年度先進政策大賞およびデジタルソリューションアワード大賞に市町村と県による協働電子図書館事業「デジとしよ信州」が選定
		11	「デジとしよ信州」が第11回プラチナ大賞優秀賞地域パートナーシップ賞受賞
		12	全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門)開催
令和6	2024	3	書庫棟昇降機改修工事（令和5年7月～令和6年3月）

参考資料：『県立長野図書館三十年史』『県立長野図書館五十年史』『県立長野図書館概要 昭和62年度～令和5年度』

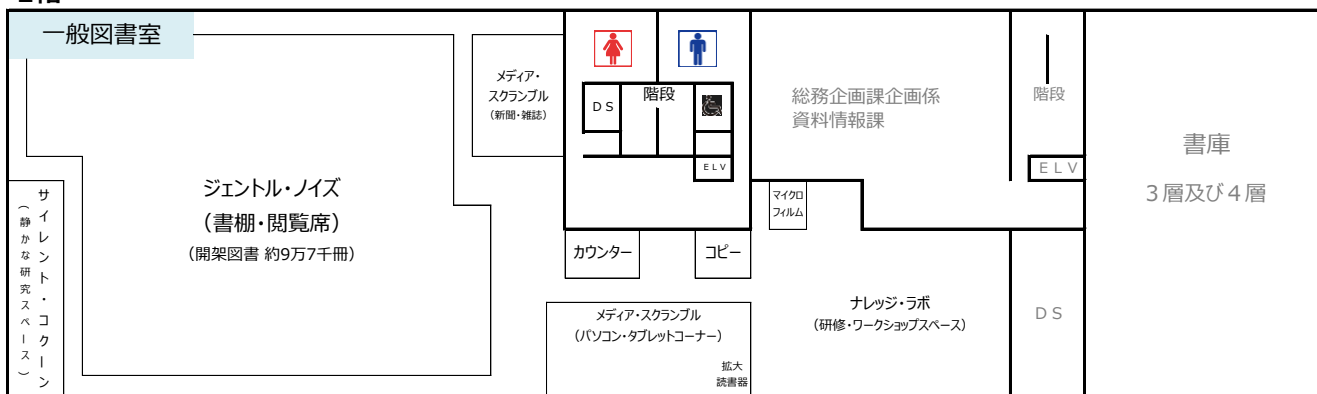
3 施設概要

所在地	長野市若里1丁目1番4号
開 所	昭和54年（1979年）8月(移転新築) ※昭和4年（1929年）8月設置
敷 地	6,152㎡(建物区画4,243㎡ 利用者駐車場1,909㎡（80台（うち障がい者等用3台））
建 物	R C(地上3階地下1階) 8,681㎡（本館8,614㎡、公用車庫67㎡）

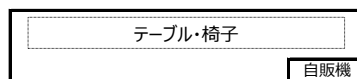
3 階



2 階



中2階休憩室



1 階



地階



4 利用案内

(1) 開館時間

階	施設名	土・日・祝日	火～金曜日
1 階	児童図書室	9:00～17:00	
2 階	一般図書室	9:00～17:00	9:00～19:00
3 階	信州・学び創造ラボ	9:00～17:00	9:00～19:00
	会議室（供用）	9:00～17:00	9:00～19:00

(2) 休館日

- ・定例 毎週月曜日（祝日（振替休日）と重なる場合も休館）
- ・蔵書整理日 毎月最終金曜日（祝日の場合は前日の木曜日）
- ・蔵書点検期間 5月16日～5月31日
- ・年末年始 12月28日～翌年1月4日



©長野県アルクマ

《お問い合わせ等》

〒380-0928 長野市若里 1-1-4

URL : <https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>

E-mail : ken-tosho@library.pref.nagano.jp

- 資料情報課 貸出延長、ネット貸出、相互貸借、レファレンス、寄贈受付、県立長野図書館電子書籍サービスほか

TEL : (026)228-4921 FAX : (026)291-6252

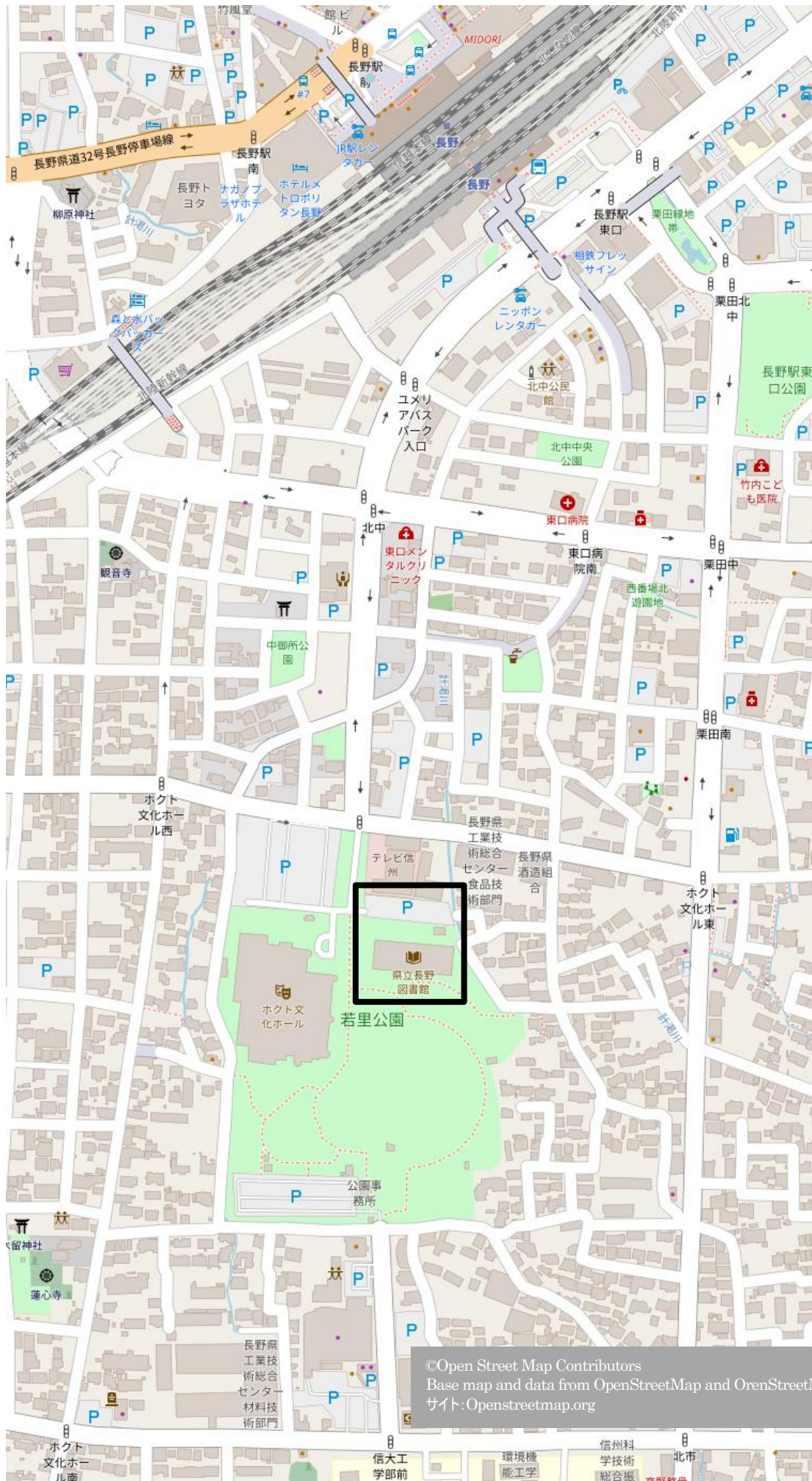
- 総務企画課 総務係 総合案内、予算、庶務、施設管理ほか

TEL : (026)228-4500 FAX : (026)228-4933

- 企画係 図書館連携、研修事業、信州・学び創造ラボ、デジとしよ信州ほか

TEL : (026)228-4939 FAX : (026)291-6252

案内図



県立長野図書館概要（令和6年（2024年）4月） 訂正表

2024.08.21現在

頁	項目名	訂正箇所	訂正後	訂正前
p.7	Ⅱ 令和5年度事業実績 1 事業概要 (1) 利用状況	相互貸借計	4,014冊	4,012冊
		相互貸借 借受	395冊	393冊
p.24	9 令和5年度主要事業実施状況 (1) 資料・情報	実施状況及び成果、今後の課題等 (ウ) 【実績】 令和5年度 借受冊数	395冊	393冊
p.35	(7) 相互貸借の利用状況 ア 相互貸借の状況	令和5年度 合計 借受冊数	392冊	390冊
		令和5年度 合計 合計	3,860冊	3,858冊
		令和5年度 県内 学校図書館 借受冊数	23冊	21冊
		令和5年度 県内 学校図書館 合計	1,346冊	1,344冊
		令和5年度 県内 計 借受冊数	303冊	301冊
		令和5年度 県内 計 合計	3,630冊	3,628冊